

摺沢まちづくり計画

# 若者が住みたくなるまち すいさわ



平成29年3月1日

摺沢振興会

## 目 次

1	会長あいさつ	1
2	摺沢地区の沿革	2
3	現在の状況	2
4	課題への対応方法の検討	3
5	計画策定の考え方	4
6	計画の期間	6
7	計画から成果の確認まで	6
8	摺沢地区の人口と予測	7
9	摺沢地区の長所	11
10	摺沢地区の課題	12
11	地区の将来像（目的の設定）	14
12	まちづくりの取り組み事項	15
13	計画の推進	25
	<アンケート・グループ討議（ワークショップ）検討集>	26
	・アンケート・グループ討議（ワークショップ）検討表	27
	・資料編	
1	摺沢振興会規約	51
2	理事、委員、グループ討議（ワークショップ）部会員名簿	55
3	アンケート集計結果	58

## 1 会長あいさつ

---

皆さんの公募意見を反映した「摺沢まちづくり計画」が、各自治会の代議員による総会において承認され、完成しました。

本計画書は、私たち住民が主体となって地域課題を整理し、目的を設定し、その目的を達成するための取り組み事項をまとめたものです。

計画書作成には、多くの方々に関わってもらいました。アンケートは摺沢地区全世帯、グループ討議は中学生と一般、計画書原案作成は策定委員、原案への意見公募は摺沢地区全世帯と多くの皆さんの手を経て作り上げられた計画書です。

出来上がった計画書のポイントは次の3つと考えています。

- ①皆さんに出してもらった数多くの課題と解決のアイデアを「アンケート・グループ討議検討表」にまとめたこと。(26 ページ以降)
- ②今後5年間の計画の最上位に位置づける大目的を  
**「多くの若者が住みたくなるまちを創る」**  
としたこと。
- ③その目的を達成するための事業を①の中から絞りこみ、例示したこと。

特に、目的を設定したことは摺沢地区の将来のために重要と考えています。この目的は、多くの課題が若者が減っていくことに起因するものであると考えられることから設定したものです。今後は、老若男女みんなで力を合わせて目的を達成するための事業計画や活動する組織など、具体的な行動をしていくことになります。目的の共有と今後の取り組みのご協力をお願いいたします。

平成 29 年 3 月 1 日 小原 伸元



写真：大東小学校 社会科見学  
「わたしの住むまちは どんなまち」

## 2 摺沢地区の沿革

---

摺沢の地名は、羽根折沢の玉堀から産出した水晶を摺り磨いたことから、その名が生まれたといわれています。

藩政時代、摺沢地区は、一関から摺沢・大原を通して高田今泉へ向かう今泉街道と千厩に向かう千厩街道が交わる宿場町でした。その後、大正14年に国鉄大船渡線（現JR）として摺沢駅が開業し、大東町の表玄関として発展してきました。



## 3 現在の状況

---

近年は特に、少子化や若者の流出による人口の減少が予想以上の速度で進んでいます。運動会や祭り等の地域行事への影響はもとより、摺沢駅や県立高校の存続危機、小中学校や保育園等の児童、生徒、園児の減少による縮小、医療機関や商店の経営難など、多くの不安な状況が目前に迫ってきています。

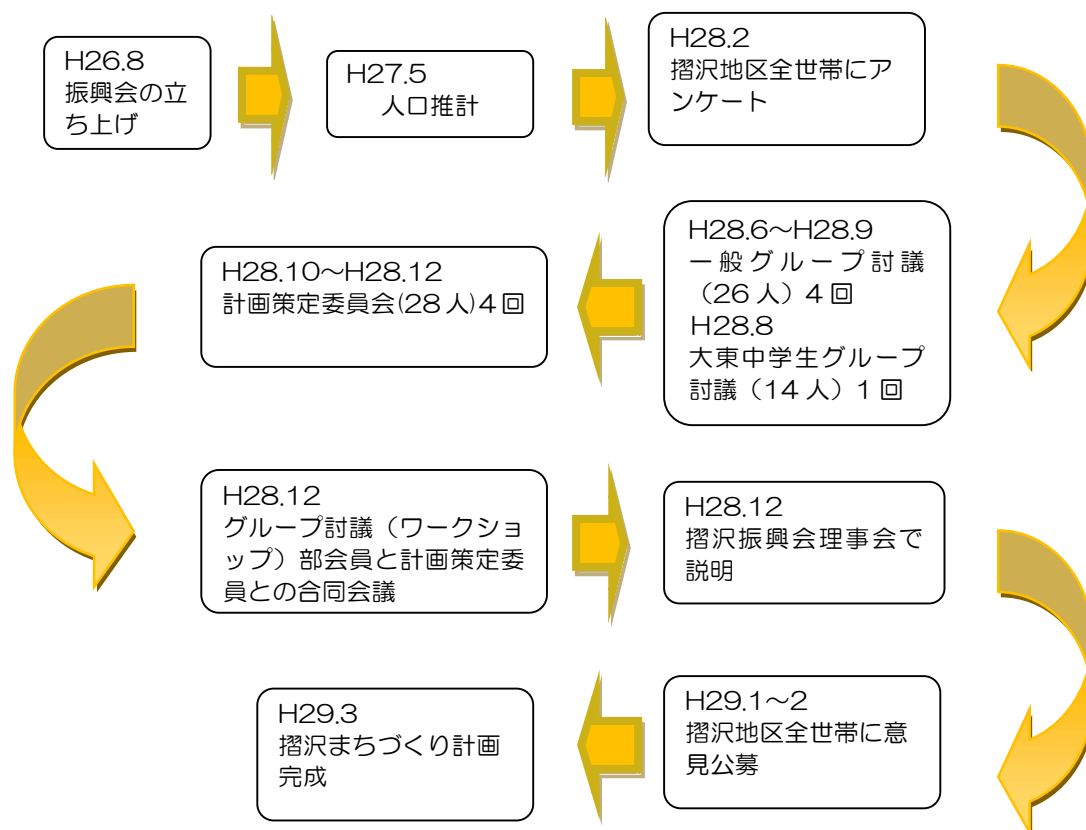
## 4 課題への対応方法の検討

地区の皆さんと共に課題を把握し、現状についての共通理解をした上で、みんなの知恵と力で問題を解決するため、その役割を担う組織として「摺沢振興会」が平成26年8月に組織されました。

これまで、アンケート調査を実施し、その結果をもとにグループ討議（ワークショップ）を重ね、計画策定委員会において原案を作成し、その原案に対しては、全世帯を対象に意見公募（パブリックコメント）を出してもらい、将来にわたって不安のない住みよい摺沢地区にするための指針として「摺沢まちづくり計画」をまとめました。

作業にあたっては、策定後の実行性を高めるため、またできるだけ多くの方々関わって作り上げた計画とするため、アンケートは摺沢地区全世帯を対象とし、グループ討議（ワークショップ）は中学生と一般（公募委員と委嘱委員）、その後は計画策定委員会（委嘱委員）、意見公募（パブリックコメント・摺沢地区全世帯）と多くの皆さんの手を経て作り上げたものです。

### 【計画策定の流れ】



## 5 計画策定の考え方

「摺沢まちづくり計画」は、目的を達成するための行動計画というところに視点を置き、「目的」、「目標」、「手段」(※1)と流れる体系を明らかにし、どのようにして理想とする摺沢に近づいていくかを検討しました。(※2)

また、計画書が完成した段階で、それぞれの実施団体において更に創意工夫を重ねながら、例示する事業がスムーズに走り始め、継続できるようにという意識でまとめたものです。

例示する事業を検討する際には、

- ① 自分たちでできる事業を考え絞り込むこと（他力本願にならない）
- ② 途中で頓挫しない事業とすること（続けることが大切）
- ③ 意欲（モチベーション）を保ち続けられるよう成果が見える仕組みとすること（やる気と根気を維持）

などを基本的な考え方としました。

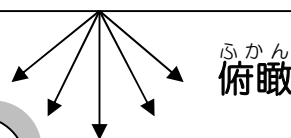
私たち地区民が総力を挙げて多くの課題を解決し目的を達成したいものです。

### ※1 「目的」、「目標」、「手段」

計画策定作業をする際の考え方の体系を表しています。

○まず俯瞰から始まります。

計画を作るときには、目的を決めて、次に目標を定めて、最後に具体的な事業を考えると「いい計画」ができると言われていています。「俯瞰」とは、鳥が大空を舞いながら広い目で地上を見ているように、目的を達成するために、上から見下ろすように必要な事業を厳選しながら考えていくことの例えに使っています。



#### 目的

目指すところを明らかにして、どのような状態を創り上げるかを具体的に簡潔に表すものです。具体的に掲げないと、それぞれの認識にズレが生じ、向かう方向に違いが出ます。

- ※ 目的とキャッチフレーズは全く異なるものです。
- 若者が住みたいと思うまちをつくる。
- × 活力があり光り輝くまちをつくる。  
(キャッチフレーズ)

#### 手段（事業）

目標を達成するために、どんなことをしたらいいか具体的な事業をいいます。

#### 目標

目標とは、目的を達成したか、どれだけ目的に近づいたかを判断する数値のことを言います。

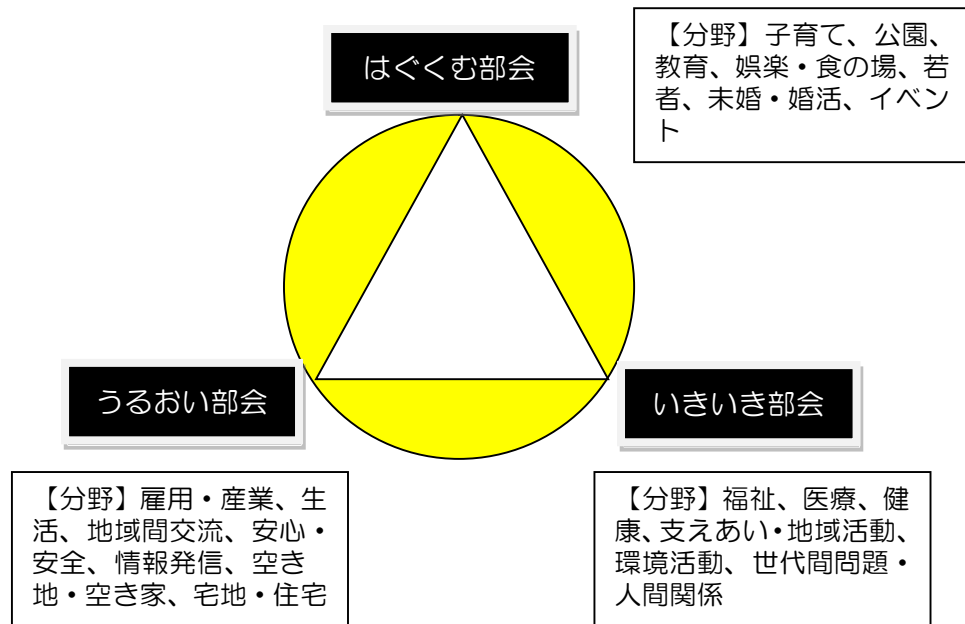
事業を実施したかどうかではなく、事業を実施した結果どの程度目的が達成されたかを判断する数値です。

- ※ 例えば、道路を造る事業の場合、道路ができたかどうかではなく、私たちの生活にどれだけ役に立つ道路ができたかを表すものです。

## ※2 検討の仕方

### ○ 3つの分野で検討

グループ討議（ワークショップ）では、アンケート結果から、主要な課題として挙げられた3つの分野について、「はぐくむ部会」、「うるおい部会」、「いきいき部会」の3つの部会を構成し検討しました。



## 6 計画の期間

---

この計画の期間は**5年間**とします。また、諸情勢の変化に伴い、機会をとらえて随時計画の見直しを行います。

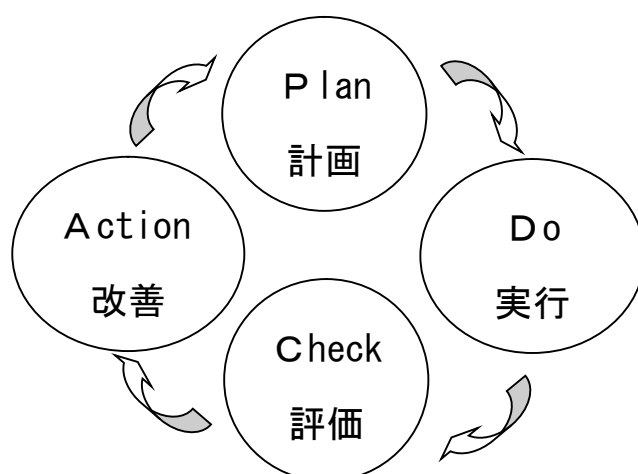
## 7 計画から成果の確認まで

---

この計画については、作って終わりの飾り物にすることがないように、マネジメントサイクル（PDCAサイクル）（※3）に沿って、一定期間ごとに成果を確認し調整しながら、高い活動意欲を保ったまま新たな事業展開につなげられるよう取り組みます。

※3 マネジメントサイクル（PDCA サイクル）

- plan（立案・計画），do（実施），check（検証・評価），action（改善）の頭文字を取ったものです。
- 行政政策や企業の事業活動にあたって計画から見直しまでを一貫して行い、さらにそれを次の計画・事業にいかそうという考え方です。



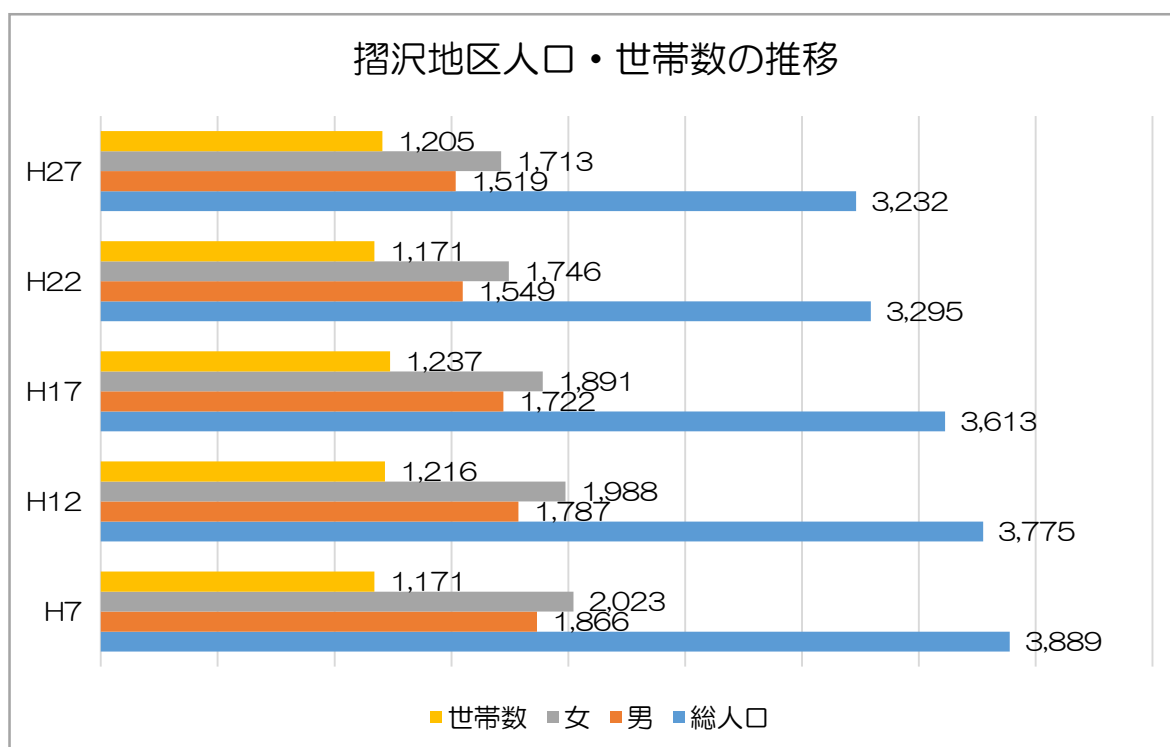


## 8 摺沢地区の人口と予測

摺沢地区は、21の自治会（行政区も同数）で構成されており、平成28年3月31日現在の世帯数は1,197世帯、人口は3,179人（男1,488人、女1,691人）、高齢化率は36.6%となっています。

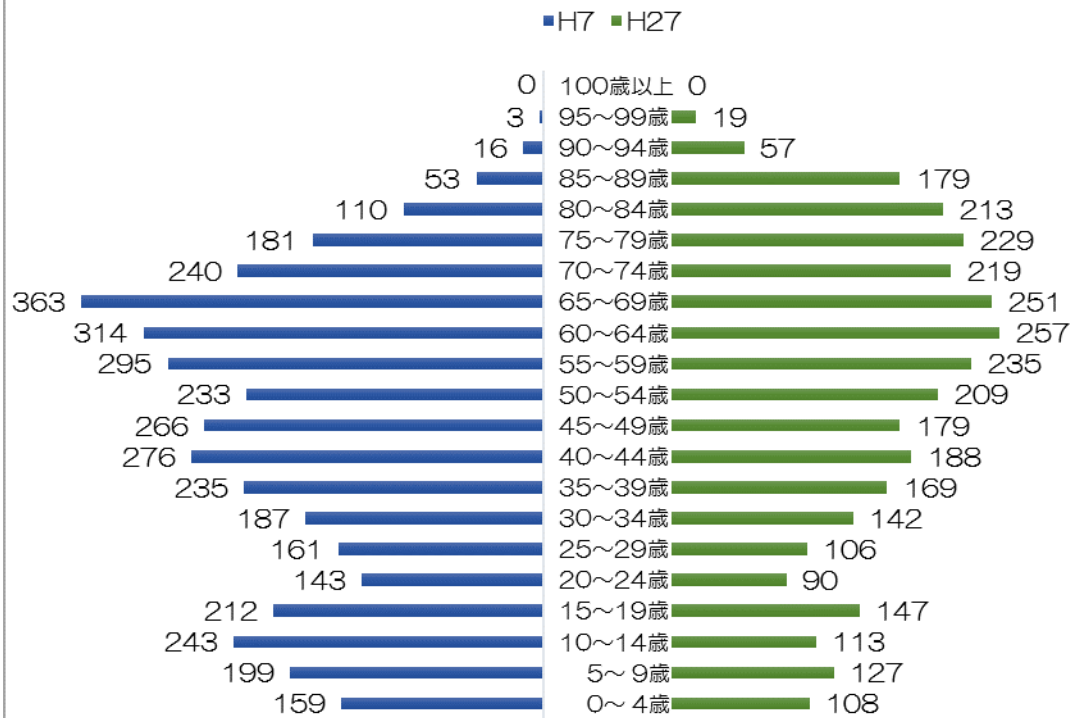
平成7年と平成27年を比較すると人口は16.8%も減少し、少子化・高齢化も進んでおり、今後もこの傾向が続くと予測されます。

また、行政区別人口予測では、自治会ごとの人口も減っていくと推計されることから、自治会単位では、これまでのように事業を展開できなくなることが予想されます。そこで、複数の自治会が連携して事業展開していくことも重要になってきます。



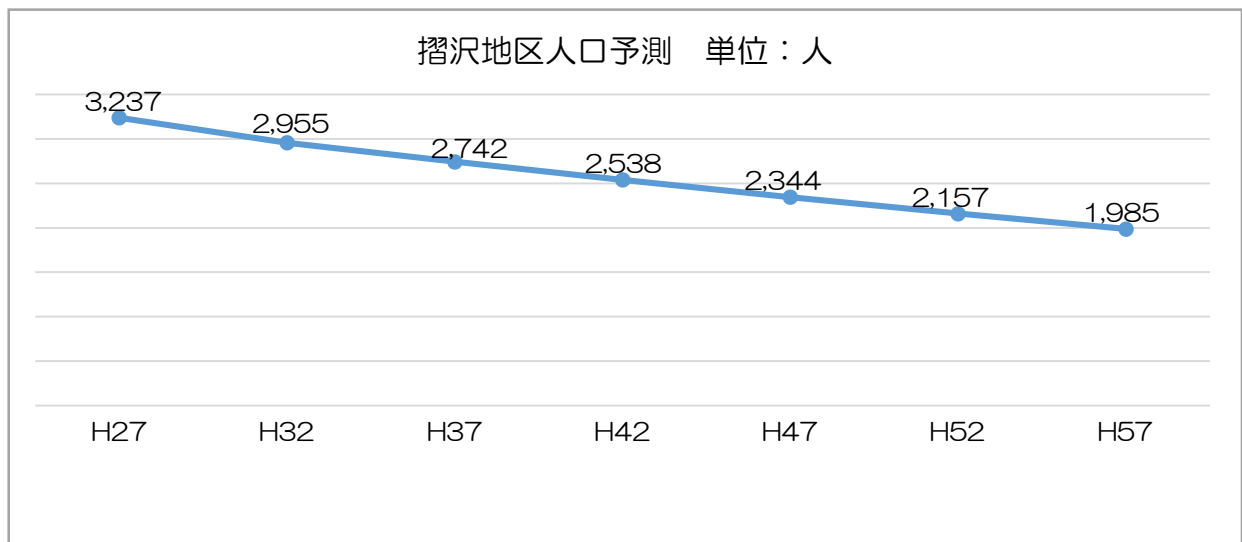
(出典：H7~22 国勢調査 H27 住民基本台帳)

## 摺沢地区人口ピラミッド（H7/H27対比）



（出典：住民基本台帳）

## 摺沢地区人口予測 単位：人



（出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」  
 で推計した一関市全体の推計率を摺沢地区に単純に適用した数値）

摺沢地区行政区別人口予測（個別積み上げ方式による予測）

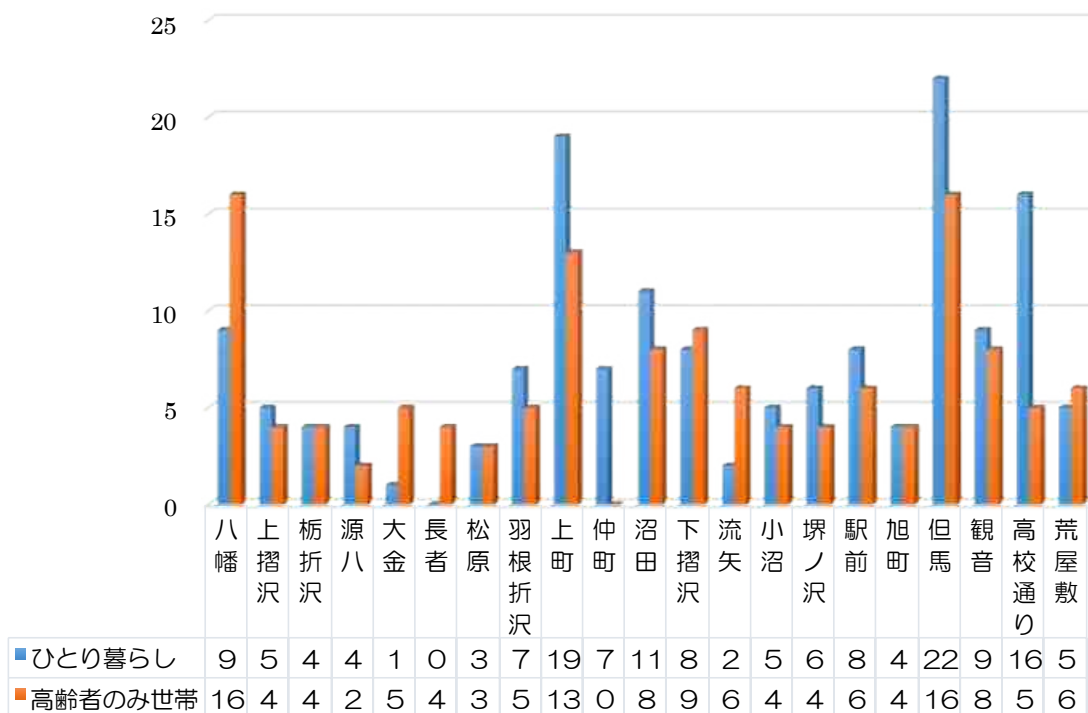
行政区	H27.3.31 現在			10年後			20年後		
	人口 (人)	65歳以上 人口(人)	高齢化率 (%)	人口 (人)	65歳以上 人口(人)	高齢化率 (%)	人口 (人)	65歳以上 人口(人)	高齢化率 (%)
八幡	314	98	31.2	229	92	40.2	175	78	44.6
上摺沢	179	63	35.2	135	60	44.4	110	56	50.9
栃折沢	111	40	36.0	77	30	39.0	66	29	43.9
源八	66	32	48.5	47	27	57.4	35	23	65.7
大金	64	29	45.3	48	26	54.2	33	19	57.6
長者	105	33	31.4	81	38	46.9	66	34	51.5
松原	90	41	45.6	58	18	31.0	46	15	32.6
羽根折沢	119	60	50.4	89	53	59.6	60	44	73.3
上町	187	94	50.3	118	56	47.5	84	42	50.0
仲町	85	30	35.3	61	28	45.9	52	32	61.5
沼田	228	67	29.4	189	63	33.3	156	68	43.6
下摺沢	272	77	28.3	217	78	35.9	179	76	42.5
流矢	99	47	47.5	74	38	51.4	50	24	48.0
小沼	80	32	40.0	62	30	48.4	48	21	43.8
堺ノ沢	107	40	37.4	84	38	45.2	67	35	52.2
駅前	270	72	26.7	210	61	29.0	174	69	39.7
旭町	183	62	33.9	134	47	35.1	108	42	38.9
但馬	249	97	39.0	183	63	34.4	140	54	38.6
観音	127	53	41.7	87	32	36.8	72	36	50.0
高校通り	135	53	39.3	102	45	44.1	78	35	44.9
荒屋敷	156	43	27.6	132	53	40.2	105	45	42.9
計	3,226	1,163	36.1	2,417	976	40.4	1,904	877	46.4

（出典：平成27年3月31日現在 住民基本台帳）

《予測の前提条件》

- 最も悪化した場合という前提で予測したものです。
- 高齢者の平均寿命を性別にかかわらず85歳として算出しました。
- 20歳代の若者は、進学や就職で首都圏などに転出した場合、なかなかUターンすることができない状況にありますので、ここでは帰ってくる人はいないものとして算出しました。
- 10年後、20年後には、社会情勢の変化により現在より改善されたり好転したり変化するものもありますが、ここでは変化しないものとして算出しました。

## H27在宅高齢者実態調査結果



(出典：平成 27 年度一関市在宅高齢者実態調査)



写真：摺沢寿学園 健康講演会 (H28, 6, 9)

## 9 摺沢地区の長所

---

全世帯アンケートの結果、私たちが住む摺沢地区には多くの課題はあるものの、よいところもたくさんあることがわかりました。

アンケート結果の中から、意見の数が多かったよいところについて紹介します。(趣旨が同じだと思われる意見はまとめました。)

- ① スーパー、コンビニ、銀行、飲食店など、生活の便が充実し、利便性は高い。
- ② 自然が多い。
- ③ 駅がある。
- ④ 大きな災害、事件、事故などのない安全安心なまちである。
- ⑤ あんどん祭りがある。
- ⑥ 住みやすい。
- ⑦ 道路、交通機関が整備され、交通の便が良いほうである。
- ⑧ イベントに力を入れている。(ご当地グルメ in 大東、よさこい祭り、秋祭りなど)
- ⑨ 一関、気仙沼、高田、前沢、水沢など、40分圏内に位置しており、かつ仙台と盛岡の中間点にある。
- ⑩ 静かで穏やかなところ。
- ⑪ 幼稚園、保育園、小、中、高校、専門学校と教育施設が整っている。
- ⑫ 景観(電車からのコミュニティセンターや促進住宅の並び、活気があるバイパス通り、山林からの街並み、仲町の裏の川沿い、千歳公園、館山、堀河ノ沢から川口へ抜ける道、流矢から小沼を通り魚集へ抜ける道、百目木等、久手山、八丁館と八幡神社、五輪の塔、武家屋敷など)
- ⑬ 近所づきあいがいい。
- ⑭ 川を中心に美しいまち。
- ⑮ 桜の名所(下摺沢バイパス沿い、摺沢公園、西公園)
- ⑯ コミュニティセンターがある。
- ⑰ 公共施設が整っている。
- ⑱ 歴史や文化が多くある。
- ⑲ イベントが多くある。
- ⑳ 歴史を感じる街並みがある。
- ㉑ 図書館が新しくて心地よい。
- ㉒ 人が好い。
- ㉓ 元気市がある。
- ㉔ 子どもから高齢者の方々まで交流することが多く、昔から様々な層の人とコミュニケーションをとれる。
- ㉕ 駅とコミュニティセンターが一体化している。

## 10 摺沢地区の課題

---

アンケート結果の中から代表的な課題について（１）から（３）までの３項目を抽出し、その後（４）で具体的な課題について分野別に検討しました。

### （１）進む少子化や若者の流出による人口減少

少子化や若者の流出などによる人口減少が進み、明治６年に開校した摺沢小学校も平成 25 年３月をもって 140 有余年の歴史を閉じました。閉校により小学生の姿が地区の中心部から見えなくなり、関わりが少なくなったことから、地区民みんなで特に意識しながら子どもを守り、育むことがより一層必要になっています。

また、希望に沿った働く場が少ないことや都会へのあこがれなどから若者も流出し、各種行事、協働活動、農地保全等の後継者不足が深刻な課題となっています。

### （２）進む高齢化

高齢化が進み、高齢者の一人暮らし世帯や高齢夫婦世帯が増え、買い物や通院、草刈りなどの日常生活が困難な世帯が増え、地域での見守りや支援が必要となっています。

### （３）地域・人との交流減少

これまでは、それぞれの自治会や団体において活発な活動が展開されてきました。しかしながら、若者の人口減少の影響から、役員の担い手がないなど世代交代が進まず、活動の不活発化が現れてきています。

また、各種行事や協働活動においても、参加者の減少・意識が薄れてきているなど地域・人との交流減少が懸念されます。

### （４）アンケートで出された主な課題（意見数が多かった課題）

#### ① はぐくむ分野（子育てなど）

- 子育てしやすい環境とは言えない。
- 小児科や産婦人科がなく子育て世代に不便である。
- 保育園待機児童が多い。
- 学童施設が満杯である。
- 子供が遊ぶ、集まる環境が整っていない。
- 教育環境の見直しの必要性がある。

#### ② うるおいの分野（生活基盤の充実など）

- 希望に合った職場がない。
- 公共交通として、交通手段の時刻、本数が少ない。
- 摺沢商店街が衰退している。

- 子どもが安全に歩ける歩道、横断歩道がない。
- 空き家、空き地が多い。
- 空き店舗が多い。
- 土地がない。高い。

③ いきいきの分野（生活支援など）

- 介護施設が充実していない。
- 福祉分野が充実していない。
- 高齢者や免許のない人のための交通手段が確保されていない。
- 病院が少ない。
- 専門の医療機関がない。

分野毎に3つの部会で4回、中学生が1回  
グループ討議（ワークショップ）を行いました。



はぐくむ部会



うるおい部会



いきいき部会



大東中学校3年生

## 1.1 地区の将来像（目的の設定）

---

### （1）大目的

10 で掲げた多くの課題について検討した結果、その要因の多くが、若者が減っていること（少子化と流出）に関わっていたことから、この計画の最上位に位置付ける大目的を

### 「多くの若者が住みたくなるまちを創る」

としました。なお、ここで言う「若者」とは、子どもや子育て世代などを表し、概ね50歳未満の年齢層を指すこととします。

### （2）中目的・小目的

次に、大目的の下に掲げる中目的・小目的を3分野ごとに検討し、次のとおりとしました。

#### ① はぐくむ分野

中目的1 「郷土愛を育てていく」

中目的2 「みんなが気軽に集まることのできる場所を整備していく」

#### ② うるおいの分野

中目的1 「ベッドタウンの役割も担うまちをつくる」

小目的1 「公共交通の維持と運行の工夫をする」

小目的2 「生活基盤の整備をする」

小目的3 「若者の集いの場を創造する」

小目的4 「Uターン・Iターンを誘導する」

小目的5 「空き地・空き家・休耕地を活用する」

#### ③ いきいきの分野

中目的1 「人を思う心を作る」

小目的1 「地域で支えあう環境を充実する」

小目的2 「心身ともにいきいき健康な市民を増やす」

小目的3 「自慢できる生活環境をつくる」

なお、「高齢者を大切にすまち」であることが、「若者が住みたくなるまち」であると考えて、中・小目的に「地域で支えあう環境を充実する」や「心身ともにいきいき健康な市民を増やす」などを設定しています。



## 12 まちづくりの取り組み事項

10に掲げた課題に対し、グループ討議（ワークショップ）等で解決のアイデアを自由に数多く出してもらいました。その結果を26ページ以降の「アンケート・グループ討議検討表」に示します。

そして、その数多くの解決のアイデアの中から、11に掲げた目的の達成に特に寄与するものや自分たちでできるものなどの観点から、例示として8個の事業項目を絞り込みました。そして、その事業概要を検討して、次ページ以降の表にまとめました。また、以下の表に「目的と事業例示の対応」を示します。

これらの事業例示は、総会で事業項目と予算を決定する際のたたき台として使用します。その後、実施主体となる団体に事業内容の詳細検討、事業実施と移ってもらいます。

目 的		事業例示
大目的 多くの若者が住みたくなるまちを創る		事業8 若者公社設立事業
中目的1 郷土愛を育てていく		事業2 自分のまちを知る事業
中目的2 みんなが気軽に集まることのできる場所を整備していく		事業1 「フリースペース・住民交流の場」創出事業 事業4 第1日曜「虹色水晶おはよう市」
中目的3 ベッドタウンの役割も担うまちをつくる		(小目的に記載)
小目的3-1 公共交通の維持と運行の工夫をする		(行政と相談)
小目的3-2 生活基盤の整備をする		(行政と相談)
小目的3-3 若者の集いの場を創造する		事業1 「フリースペース・住民交流の場」創出事業（再掲）
小目的3-4 Uターン・Iターンを誘導する		事業3 空き地、空き家、耕作放棄地活用事業
小目的3-5 空き地・空き家・休耕地を活用する		事業3 空き地、空き家、耕作放棄地活用事業（再掲）
中目的4 人を思う心を作る		(小目的に記載)
小目的4-1 地域で支えあう環境を充実する		事業5 「お困りお助け隊」検討事業
小目的4-2 心身ともにいきいき健康な市民を増やす		事業6 健康特産品開発事業
小目的4-3 自慢できる生活環境をつくる		事業7 みんなで川をきれいにしよう！事業

【参考】事業予算は年間約160万円の予定です。

(内訳は、会費が1世帯100円で計約10万円、一関市の事業費補助金が約150万円です。なお、補助金は人口割もあり、人口の増減により変動します。)

## 摺沢振興会まちづくり事業例示 1

事業名	「フリースペース・住民交流の場」創出事業	
事業の目的	老若男女が安心して集う場所を生み出す	
事業実施団体名	摺沢振興会加入団体	
事業着手と完了時期	着手	平成 29 年
	完了	平成 33 年（その後も継続）
事業の内容	<p>1 事業内容</p> <p>幼児は安全にのびのびと遊ぶことができ、学校帰りの子どもたちや汽車を待つ高校生などは気軽に立ち寄ることができ、お年寄りはお外に出たいと思えるような地域の繋がりが生まれる交流の場を確保する。</p> <p>摺沢寿会で実施予定の「寿カフェ」とタイアップすることも視野に入れる。</p> <p>2 対象者</p> <p>(1) 幼児、児童・・・公園のような遊びの場</p> <p>(2) 中高生・・・大人の目を気にしないで集まり情報交換できる場</p> <p>(3) 高齢者・・・気軽にかけられる場</p> <p>3 実施時期</p> <p>平成 29 年度から</p> <p>4 事業計画</p> <p>(1) 幼児、児童に対して</p> <p>① 視察対象の公園の選択・見学（初年度）</p> <p>② 地域住民と視察対象の公園をめぐる（次年度以降）3回（春・夏・秋）</p> <p>③ 参加者は最後に「摺沢にあったらいい公園」をそれぞれ描く。</p> <p>④ 事業が終了した時点で絵の展示会を開催する。</p> <p>⑤ 市へ提案書を提出する。</p> <p>(2) 中高生に対して</p> <p>① 空き家、空き地賃借の募集 摺沢振興会加盟団体（空き家2軒、空き地1区画）</p> <p>② 募集の周知 各自治会に依頼、チラシ配布（市広報に綴じ込み）</p> <p>③ 連絡受付 摺沢振興会</p> <p>④ 計画 摺沢振興会加盟団体 (ｽｸｰﾙ-場、ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞｺﾞﾙﾌ場、ﾊﾟｰｺﾞﾙﾌ場 など)</p> <p>(3) 高齢者に対して</p> <p>中高生の案と一緒に空き家等の賃借の募集を行う。</p>	

		<p>5 事業費</p> <p>(1) 幼児、児童に対して</p> <p>① 調査費 … 〇円 (初年度)</p> <p>② チラシ印刷、画材などの材料費等 … 〇円 (次年度以降)</p> <p>③ バス借上代 … 〇円 (バス1日 〇円×3回)</p> <p>④ 保険代 … 〇円 (30名× 〇円×3回= 〇円)</p> <p>(2) 中高生に対して</p> <p>① チラシ製作費 〇円 / 回</p> <p>② 空き家賃借料 〇円 / 1軒 (お礼程度で依頼)</p> <p>③ 空き家諸経費 火災保険、水道光熱費、遊び道具、維持管理費等 〇円 / 月、軒 *賃借のため改造は見込まない。</p> <p>④ 空き地賃借 無料での借受を希望したい。</p> <p>(3) 高齢者に対して</p> <p>① ポット、テーブルなど備品代</p> <p>② 燃料費</p> <p>○ 冬季月額 〇円 ストープ (18リットル灯油 2缶)</p> <p>○ 夏季月額 〇円 エアコン等 (1h 〇円×8時間×月20日利用と仮定)</p> <p>③ 運営に関わる資材代 月額 〇円</p> <p>6 その他いろいろな意見</p> <p>(1) 視察は、対象者を幼児・小学生・大人とわけて行うことも方法のひとつではないか。(分けた方が気持ちの面で参加しやすい)</p> <p>(2) 市への提案だけではなく、地元の職人の方々の力を貸していただき、自分たちでできる公園設営も考えてみたい。</p> <p>(3) 囲碁・将棋・健康麻雀の場があってもいいのではないか。</p>	
事業実施場所		摺沢市街地、大東コミュニティセンター2階ロビーなど	
事業費総額 (円)		実施主体で検討	
目標	(案) 摺沢っていいところだと思う住民の数 (数値の把握から事業開始)	指標	着手前 着手後



写真：摺沢寿会 “コトブキカフェ”

## 摺沢振興会まちづくり事業例示 2

事業名	自分のまちを知る事業		
事業の目的	自分の住んでいる地区を知り、誇りを持ってもらう		
事業実施団体名	摺沢振興会加入団体		
事業着手と完了時期	着手	平成 29 年	
	完了	平成 33 年（その後も継続）	
事業の内容	<p>1 事業の内容 子どものころから自分の住む地区がどのようなところかを調べ、知ってもらうことにより、地元への愛着心の育成を図る。</p> <p>2 実施期間 平成 29 年度から</p> <p>3 事業計画            (1) 大東小学校への打診            ①総合的な学習の時間の活用、対象学年は決めて行う。            ②大東小学校には3地区の児童が通学しており、渋民・曾慶の子どもは摺沢を学び、摺沢の子は渋民や曾慶を学ぶなど、お互いの地区を巡る。            (2) 摺沢史談会への協力要請            わかりやすく、楽しく話せる人を選出、場所の候補などを依頼する。            (3) 調べる場所の絞り込み、調査を行う。（初年度）            (4) 子どもたちが地区を巡り、土地の由来等を学習する。（次年度以降）            (5) 調査結果を成果としてまとめ、わかった事柄などから、その土地にあるキャラクターを考えてもらう。            (6) 調査成果をもとに、由来等の看板を設置する。（摺沢地区のみ）            看板には子どもたちが考えたキャラクターも掲載する。</p> <p>4 事業費（想定額）            (1) 調査費                   〇円（初年度）            (2) 印刷代、材料費       〇円            (3) 看板代                   〇円（1基 〇円×年間2基）            (4) 謝 礼                   摺沢史談会には無料での依頼を希望</p> <p>5 その他            (1) 学校に打診して了承が得られるか。            (2) 現在ある学びの土曜塾（市民センター事業）と内容が似ているのではないか。            (3) 土日中心の開催として、親子で参加できる仕組みがいいのではないか。            (4) キャラクターを作ることにより、いじめに発展するケースもあり慎重に考えるべきではないか。</p>		
事業実施場所	学校、屋外		
事業費総額（円）	実施主体で検討		
目 標	（案）小中学生が卒業する段階で、大人になっても摺沢に住みたいと思う子どもの割合（数値の把握から事業開始）	指 標	着手前
			着手後

### 摺沢振興会まちづくり事業例示 3

事業名	空き地、空き家、耕作放棄地活用事業		
事業の目的	空き地、空き家、耕作放棄地の情報を収集し、IターンやUターンの要望に応える		
事業実施団体名	摺沢振興会加入団体		
事業着手と完了時期	着手	平成 29 年	
	完了	平成 33 年（その後も継続）	
事業の内容	<p>1 事業の内容 IターンやUターンの要望に応えるため、空き家、空き地、耕作放棄地の情報を収集・整理する。</p> <p>2 実施期日 (1) 空き家、空き地、耕作放棄地が見つかり次第</p> <p>3 事業計画 (1) 情報の収集 21 自治会から (2) 情報の確認 摺沢振興会が、賃貸や買い取りなどの条件面や個人情報取り扱いなどについて所有者本人から確認する。 (3) 情報発信 摺沢振興会からホームページ等でお知らせする。 (4) 準備事項 法的な確認、データベース、ホームページ作成、写真など</p> <p>4 事業費（想定額） (1) 諸経費 ○円 / 月 （ ○円 / 年）</p> <p>5 その他 (1) 多くの場面で法律的な制約が予想されることから、まずは「(仮称)若者特区」の認定を目指し、各種事業が展開できる条件整備をする必要がある。 (2) 振興会が財産を持つことも可能性としてあることから、法人登記する検討も必要となる。</p>		
事業実施場所	摺沢地区内		
事業費総額（円）	実施主体で検討		
目標	(案) 摺沢に住みたいという人の情報数 (数値の把握から事業開始)	指標	着手前
			着手後

## 摺沢振興会まちづくり事業例示 4

事業名	第1日曜「虹色水晶おはよう市」		
事業の目的	定期市を開催し、農作物や手芸の作品など多くの品物を販売することにより、地区民相互の交流の場とするとともに、産業の振興に資する		
事業実施団体名	摺沢振興会加入団体		
事業着手と完了時期	着手	平成29年	
	完了	平成33年（その後も継続）	
事業の内容	<p>1 事業の内容</p> <p>摺沢市民センター西側駐車場に毎月「市」を立て、売る人は所得の向上を目指し、買う人は割安感を得ることにより、定期的に長く続く生活に密着した摺沢地区の文化を創造する。また、人々が集まることによる対面交流と情報交流の場とし、若者が地域を理解することができる機会とする。</p> <p>さらに、朝市をきっかけに宅配事業に拡大するなど、お互いの希望を取り入れながら事業の発展を目指す。</p> <p>2 事業名の意味</p> <p>摺沢が水晶を産出した地域であることに加え、平安時代には、虹が出た時に市を立てたことに由来する。</p> <p>3 実施期日</p> <p>(1) 毎年5月の第1週から11月の第1週まで（年7回）  (2) 毎月第1日曜日 午前8時から10時（コミュニティセンターの事業と調整）</p> <p>4 事業計画</p> <p>(1) 参加者の募集 摺沢振興会（20区画）  (2) 募集の周知 チラシ配布（市広報に綴じ込み）  (3) 申込受付 摺沢振興会  (4) 区割り 摺沢振興会</p> <p>5 事業費</p> <p>(1) チラシ製作費 ○円 / 月（○円 / 年）  (2) 参加費 当分の間無料（安定後 ○円 / 1区画）</p>		
事業実施場所	摺沢市民センター西側駐車場（コミュニティセンターの事業と調整）		
事業費総額（円）	実施主体で検討		
目標	（案）収入の増につながったと感じる人の数（現状の把握から事業開始）	指標	着手前
			着手後

## 摺沢振興会まちづくり事業例示 5

事業名	「お困りお助け隊」検討事業		
事業の目的	赤ちゃんから高齢者まで、豊かに人生を過ごせる環境を整備する		
事業実施団体名	摺沢振興会加入団体		
事業着手と完了時期	着手	平成 29 年	
	完了	平成 33 年（その後も継続）	
事業の内容	<p>1 事業の内容 摺沢地域住民が普段の生活で困っていること、手助けを必要としていることを共有し、地域全体で助け合う仕組みを検討し、お互いを支え合う環境の充実を図る。</p> <p>2 実施期間 (1) 平成 29 年度から</p> <p>3 事業計画 (1) 高齢者などの困りごとを調査、把握、共有、リスト化、管理。 (2) 地域通貨発行の仕組み検討・詳細の確定。 (3) 学生有償ボランティア隊員及び人材バンク（年齢性別問わず、一般有償ボランティア）の仕組み検討し、詳細確定させる。 (4) 自治会長、学校等への説明会を開催する。 (5) ボランティアのメンバー募集・チラシを配布する。 (6) ボランティア隊活用を周知する。（独居老人世帯や老々世帯） (7) ボランティア隊への説明会、研修会を開催する。</p> <p>4 事業費（想定額） (1) 調査費、チラシ作成費、研修会費 … <u>（次年度以降予備費扱い）</u> (2) 地域通貨発行補助（利用者との折半） … ○円 ○円×3 枚綴り×63 名（利用者 3 名×21 自治会）と仮定 (3) ボランティア保険 … ○円 1 人×1 年×○円×21 名（21 自治会から 1 名はボランティアになる）と仮定 (4) 作業に関わる器具、機材、備品等 …○円（初年度） （備品は初年度購入し、その後メンテナンスが必要と思われる）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 除雪スコップ ○円（ ○円×10 本）</li> <li>● 除雪機 ○円</li> <li>● 草刈り鎌 ○円（ ○円×10 本）</li> <li>● 草刈り機械用油 ○円（20ℓ）</li> </ul>		
事業実施場所	摺沢地区内		
事業費総額（円）	実施主体で検討		
目標	（案）摺沢って住みやすいところだと思う住民の数（数値の把握から事業開始）	指標	着手前
			着手後

## 摺沢振興会まちづくり事業例示 6

事業名	健康特産品開発事業		
事業の目的	摺沢住民の健康維持と地域の特産品開発で魅力を発信する		
事業実施団体名	摺沢振興会加入団体		
事業着手と完了時期	着手	平成 29 年	
	完了	平成 33 年（その後も継続）	
事業の内容	<p>1 事業の内容 地域住民に健康について考えるきっかけを与えるとともに、地元企業とコラボすることで地域の情報や魅力を発信する。</p> <p>2 実施期間 平成 29 年度から</p> <p>3 事業計画            (1) 健康特産品開発実行委員を設置する。            (2) 委員会の仕組み検討・詳細を確定する。            (3) 研修会を開催する。            (地域食材で検討促進・維持できるものの検討、コラボ企業の検討)            (4) コラボ企業への説明を行う。            (5) コラボ企業と合同で商品開発を実施する。            (6) 試作品作成            (7) 販売</p> <p>4 事業費（想定額）            (1) 調査費、チラシ作成費、印刷費、情報発信費、研修会費… ○円            (2) 開発費 … ○円            (3) 試作品に関わる費用 … ○円            (4) 講師謝礼 … ○円</p>		
事業実施場所	摺沢地域内		
事業費総額（円）	実施主体で検討		
目標	(案) 健康特産品を開発した数 (数値の把握から事業開始)	指標	着手前
			着手後



## 摺沢振興会まちづくり事業例示 7

事業名	みんなで川をきれいにしよう！事業		
事業の目的	摺沢住民の生活にとって愛着のある地域の川をみんなできれいにし、自然環境の保全に住民が興味を持ち維持管理に努める。		
事業実施団体名	摺沢振興会加入団体		
事業着手と完了時期	着手	平成 29 年	
	完了	平成 33 年（その後も継続）	
事業の内容	<p>1 事業の内容 地域住民に地域の川を大切にすきかけを与え、自然環境保全に興味を持ってもらう。 昔のように川で遊び自然と親んでもらえるよう、各家庭で取り組み水質改善効果を期待する。</p> <p>2 実施期間 平成 29 年度から</p> <p>3 事業計画 （1）川の現状を調査する。 （2）各家庭で出来る取り組みを検討する。 （3）研修会を開催する。（水質改善効果について） （4）水質改善取り組み後の川の実態を調査する。 （5）結果を住民へ報告し、継続する。 （6）定期的に日程を決めて川の環境整備をする。 （7）川の公園の実現に向けて行動していく。</p> <p>4 事業費（想定額） （1）調査費、チラシ作成費、印刷費、研修会費 … ○円 （2）講師謝礼 … ○円 （3）川の環境整備費 … ○円</p>		
事業実施場所	摺沢地区内、各家庭		
事業費総額（円）	実施主体で検討		
目標	（案）水質改善に取り組み始めた世帯の数 （数値の把握から事業開始）	指標	着手前
			着手後

## 摺沢振興会まちづくり事業例示 8

事業名	若者公社設立事業		
事業の目的	物事（活動）のきっかけを創出するとともに、各事業の柔軟な運営を図る		
事業実施団体名	摺沢振興会加入団体		
事業着手と完了時期	着手	平成 29 年	
	完了	平成 33 年（その後も継続）	
事業の内容	<p>1 事業の内容 物事（活動）のきっかけを創出するとともに、各事業の柔軟な運営を図る。</p> <p>2 実施期間 平成 29 年度から</p> <p>3 事業計画                      (1) すべての事業を取りまとめ調査研究する場とする。                      (2) 年代ごとに話し合い、幼保、小、中の事務局を作ることで地区（各団体等）の連携を強化するとともに、事業のマンネリ化を防ぐ。                          • 幼保部会（子＋親）                          • 小学生部会（子＋親）                          • 中学生部会（子＋親）                      (3) 事業継続や事業実施の査定を行う。</p>		
事業実施場所	摺沢市民センター		
事業費総額（円）	実施主体で検討		
目 標	（案）調査研究をし、提案した回数 （数値の把握から事業開始）	指 標	着手前
			着手後

## 13 計画の推進

---

この計画は、摺沢地区の将来像の実現に向けて分野ごとに目的を定め、その課題と解決策の方向を体系的に整理し明らかにしたものです。

具体的な事業展開にあたっては、行政や各自治会等、この会を構成する団体と緊密な連携をとり、適切な役割分担をしながら取り組んでいくものとします。

また、この計画は、摺沢地区に住むみんなが情報を共有し、一人ひとりの主体的な参加と協力により推進しようとするものです。



写真：摺沢地区民運動会（H28, 9, 11）



写真：平成 28 年度 摺沢保育園 入園式（H28, 4, 4）

アンケート・グループ討議  
(ワークショップ) 検討集

< 検討集編 >

アンケート・グループ討議（ワークショップ）検討表

この検討表は、アンケート結果から抽出した「摺沢の現状・課題」とワークショップで検討された「解決策」を一覧にしたものです。

【子育て】

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる意見・効果
子育てに優しい地域環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てしやすい環境とは言えない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちを中心に育てることを考え、大人たちがそのために行動する子どものために学べる親のイベント「自信」「自慢」「思い出」が出来るイベント</li> <li>・地域みんなで子育てをする（農作物のおすそ分けなど）</li> <li>・地域の祖父母参観日の復活</li> <li>・子育てに関する情報の発信</li> <li>・職場に子育て支援をしてもらう</li> <li>・子育て世代の手当を豊かにしてもらう・保健センターの土日開所</li> <li>・有料（低額）ボランティアの設立勤務している人がボランティアに携わると商品券などで還元を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・摺沢小学校の時にはあった</li> <li>・祖父母たちと交流することで、子どもたちに声をかけやすい環境が出来る</li> <li>・一関市では現在「赤ちゃんの駅（授乳スペース、オムツ替えの場所提供、ミルク用のお湯、ベビーキープ）」の設置がすすめられている</li> </ul>
医療の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児科や産婦人科がなく子育て世代に不便</li> <li>・地域に病後保育施設（環境）がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療の充実 開業医と連携を取り、病後児保育が出来るようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士や看護師の確保 → 雇用につながる</li> </ul>
支援制度の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市からの子育て支援が十分ではない</li> <li>・摺沢地域独自の子育て支援制度がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援制度の充実 医療費の助成があったりと支援はあるが、託児の利用料金が下がるような支援があると良い → 若い世帯や妊婦さんへの支援の仕組みを作る （教育費の減免、出産一時金の配布、タクシークーポン、送迎など） → 小中学生の給食費を地域住民全体で持つ</li> <li>・支援制度の周知</li> <li>・支援団体の設立</li> <li>・子どもが二人目の場合、条件なく保育料を半額にするという要望を市にかけあう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在一関市では、チャイルドシートの貸与制度がある</li> </ul>
保育・学童関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・託児所の料金が高い</li> <li>・赤ちゃんから預けられる託児所がない</li> <li>・保育園待機児童が多い</li> <li>・学童施設が満杯である</li> <li>・地域全体で子どもを見守る体制が整っていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・摺沢地区振興会立学童施設 昔、幼稚園が「婦人会立」だったように「摺沢振興会立の学童施設」を作って、子ども（3才～18才）と子育て家庭を振興会としてバックアップする姿勢を示す。（予算も集中配分する。）シルバー世代に運営をお願いすることで、子どもとシルバー世代の交流ができる。学童は街道下の空き家を使う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「街に子どもの声が戻る！！」</li> <li>・現在ある学童の拡張は、今動き出しているところである</li> <li>・長期休みのとき、小学生の行き場がない</li> <li>・子どもを見守るための雇用にもつながる</li> <li>・現在、水曜日に保育園</li> </ul>

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる意見・効果
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・至急で子どもを見てもらいたくなった時預けられる施設がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・託児、保育園、学童保育の充実 地域で学童のような集まれる場を作れば</li> <li>・大東小学校にも放課後子ども教室を作る 元先生が多い地域性を活かしての子育て環境の仕組み作り シルバー世代の活用</li> <li>・幼稚園、保育園の先生を増やす (保育士さんの待遇改善)</li> <li>・面接による入園を行うようにする</li> <li>・保育園に体験の名目で気軽に足を運べるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開放は行われている</li> </ul>
環境整備 (ハード)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園の老朽化</li> <li>・道路環境が子どもやベビーカーに優しくない</li> <li>・赤ちゃんのおむつ替え台が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども園をつくる(幼保一元化へ)</li> <li>・環境整備(ハード面)については市や店舗への働きかけが必要</li> <li>・通学路に街灯や歩道フェンスを設置する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用の場になる</li> </ul>
環境整備 (ソフト)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の良さを子どもたちに伝えられていない</li> <li>・子育てなどについて交流する機会が少ない</li> <li>・子育て地域イベントが不足している</li> <li>・高齢者と子育て世代の交流が少ない</li> <li>・夫婦だけの子育てで負担が大きい</li> <li>・子どもの遊ぶ場所、集まる場所(乳児～小中学生)がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家、空き店舗の利活用 空き店舗を利用したサークル活動など</li> <li>・環境整備(ソフト面)では子ども中心のイベントを行う 体を使ってみんなで遊べるものなど (道路にチョークで落書きする、川などで水遊び、道路を使ってウォータースライダー、作業用の一輪車に子供を乗せて親が押すレースなど)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家、空き店舗が多いわりに貸してもらえない、または高い</li> <li>・自然と親や祖父母が集まる</li> <li>・世代を超えたつながりができる</li> <li>・室蓬ホールの有効活用</li> </ul>

### 【公園】

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
充実した公園 (設備)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを遊ばせる公園の環境が整っていない</li> <li>・児童公園の状態がひどい</li> <li>・安心して遊べる自然公園がない</li> <li>・公園があるのに整備されていない</li> <li>・運動をする場所(公園等)がない</li> <li>・自然を利用した公園がない</li> <li>・トイレなどの設備が整った公園がない</li> <li>・休日に子どもが遊べる施設がない</li> <li>・室内の遊び場所がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園や広場の整備、緑化運動の推進を行う</li> <li>・公園につながる道路整備を行う</li> <li>・摺沢市民センター、JR大船渡線、街道下に囲まれた休耕田を「すりさわ児童公園」として整備する。フェンスを張り、施錠し、管理人(管理棟)を配置することで安全安心な人の集まる場所が生まれる → 公園の管理者を明確にする → 公園を維持する活動(草取り、遊具のチェックなど)をボランティアで行っていく</li> <li>・小休止用にベンチを設置する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の集まりが増える</li> <li>・利用者が増え、交流の場になる</li> </ul>
充実した公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・散歩する適当な場所がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市などに働きかけて用地の確保、公園の整備をしていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園が出来ればその公園でイベント(歌会やア</li> </ul>

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
(環境)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平場の公園がない</li> <li>・いつでも自由に行って楽しめる場所がない</li> <li>・子育て世代の交流場所が限られている</li> <li>・子育てサークル活動以外に集まれる場所がない</li> <li>・老若男女安心して過ごせる場所がない(散歩コース、お休み処がない)</li> <li>・子どもが外で遊んでいるのを見かけない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園を町の中心部あたりにつくる</li> <li>・空地を活用する アスレチック様式の公園、ドックラン、花畑、憩いの場など</li> <li>・子どもたちが安全に自然と触れ合い遊べるよう大人たちが見守ってゆく</li> <li>・自然を保存してウォーキングコースを作る</li> <li>・ロードフラワーで環境をもっと活発にし、美しい摺沢にする</li> </ul>	<p>ート展、ウォーキングなど)をするなど活用できる</p>

【教育】

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
幼保一元化(こども園)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育環境の見直しの必要性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育環境の見直しの必要性を市などへ働き掛ける(教育機関インフラ、専門学校、短大、大学の設立)</li> <li>・子ども園をつくる</li> <li>・生涯学習を通し数学を学び教育水準を家庭から向上させる 幾何学の解法を通し複雑に見える問題でも視点を変えることで容易に解答できることを生涯学習を通し学んでいく 総合的な知識を必要とする幾何学を通し家庭から考える力、多角的な視点を養い子どもたちの将来の選択肢を広げる 数学を学ぶ楽しさ、理解する楽しさを体感できる素晴らしい学問です</li> </ul>	
安全な通学路の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校の通学がやや不便</li> <li>・スクールバスが地域の奥まで行き届いていない</li> <li>・通学路に危険箇所がある</li> <li>・小中学校通学路の防犯灯が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な通学路の確保(通学路の危険箇所、防犯灯、スクールバスの充実)を市に働きかける</li> <li>・道路環境については行政への相談もしていく</li> <li>・スクールバス停留所をもっと奥まで設置</li> <li>・スクールバスが行かない地域には、小型のワゴンやバンなどを運転してはどうか(地域の人が運転手として)</li> <li>・歩道と車道の境はポールではなくガードレール化</li> <li>・自転車道を設ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転手は「商売」なのか、「ボランティア」なのか。それによって対応できる年齢が変わる</li> <li>・いろいろな方に負担がかからないようにする仕組みが大事</li> <li>・地域の交通安全協会から会議開催の案内が来たが、働いている時間だったため参加出来なかった(時間が合わない) → 子どもたちの親世代の意見が反映されにくい状況</li> </ul>
地域施設の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室蓬ホールが有効に活用されていない</li> <li>・図書館が有効に活用されていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大東図書館や室蓬ホールを利用している状況を情報公開し利活用されている現状を地域の人に知ってもらう</li> <li>・活動している人たちでもっと広める</li> <li>・多様なカルチャースクールを作る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利活用は十分にある</li> </ul>
子どもたちの居場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校が高台に移設したため地域内で</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てのところに繋がる学童や公園をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの居場所にな</li> </ul>

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
所づくり	子どもたちの姿を見かけない	・長期の休みを利用して、中高生が小学生などに対しお楽しみ会を開催する（紙芝居や昔話など）	る ・子どもたち同士（小・中・高）の交流につながる
地域性の有効活用	・小学校～専門学校までそろっている地域にも関わらず、その地域特徴を有効に活用していない ・学校と地域の連携が取れていない	・高校を巻き込んだコミュニティビジネスの創出 ・国際医療福祉専門学校の生徒さんたちとの交流の機会を作る ・大東高校に入学したいと思わせる特殊性を生み出す ・看護学生の宿舎を作る ・教育の場を利用する人の住環境の整備 ・各種イベントの際、小、中、高、専門学校生への参加呼びかけの強化 ・情報の一覧化 幼稚園、保育園、小学校、中学校、スポ少の年間スケジュール、地域のイベントを一覧化し、地域のみなが把握できるようにする（LINEを利用、自治体で端末を持つ、市のHPなど） ・家から通える学校に入る ・講演会を行う	・関わりあうことで、小中学生が地元の高校生のようになりたいと思うようになる ・専門学校が管理している旧小学校体育館は、地域で使用するとき使用料が発生する ・学区と行政区の括り方が違う
歴史の継承	・名物も歴史も誇れるものがない ・地域の歴史について知る若者が少ない	・小学校、中学校に地域で行っている歴史講座の出前出張をやってもらう（次の世代に伝えるための教育） ・大東高校鹿踊りの伝統を受け継ぐ人を増やす（伝統を支援していく） ・小沼鹿踊りをもっと演舞する機会を作る ・歴史、文化をアニメや漫画、紙芝居などでわかりやすく伝えていく ・郷土資料館を空き地に作る ・時節の習い事、歌の稽古を行う（流儀なしで教える人がいるとよい） ・摺沢の昔話を高齢の方から聞く機会をつくる ・昔の遊びを教えてもらう機会をつくる	・実際には歴史深い継承が薄れてきているのが現状 ・わかりやすく教えてもらえれば子どもたちも興味をもつのでは

#### 【娯楽・食の場】

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
娯楽(小規模)	・気軽に入れる飲食店が少ない ・居酒屋がない	・町内の中心となるショッピングセンターのような商業施設を作る ・地域内の飲食店マップの作成（世帯や駅、施設においてもらう） ・カフェの誘致、開業したい人の募集をする ・駐車場をつくる ・空地、空き家を利用して摺沢を宿場町にする ・道の駅を作る ・フリードーム施設をつくる ・余暇、娯楽施設にひとり暮らしの人が毎日通えるような送迎を確立する	・地域に飲食店がないわけではない ・ある程度充実している ・やりたい人がいても土地はあるのか？ ・駐車場スペースも必要
娯楽(大規模)	・大型商業施設がない ・娯楽施設がない ・レジャー施設がない		
地場産業の開拓	・りんご農園・いちご農園・ぶどう農園	・地場産業の活用・開発 地元の企業、イベント（不二家、丸三	



テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
	<ul style="list-style-type: none"> <li>どの名物がない</li> <li>木工団地にはアスレチックがあったり、お祭りが開催されているが、知らない人が多い</li> </ul>	漆器、グルメ市、木工団地など) とコラボレーションして摺沢独自の何かを作る	
若い世代の娯楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校生が楽しめる場所がない</li> <li>みんなが集まれる場所がない</li> <li>若者が健全に集まれる場所がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の飲食店に無料Wi-Fiを置く</li> </ul>	
学びの場の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>カルチャースクール的なものがない(あっても仕事をしているので時間が合わない)</li> </ul>		

### 【若者】

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
魅力あるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者にとって魅力のあるまちではない</li> <li>若者の興味を誘うものがない</li> <li>刺激がない</li> <li>若者が遊ぶ場所が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者が集う場を設ける</li> <li>観光名所を作る 農村景観を外国の方向けの観光名所にする 隠れた名所めぐり</li> <li>桜を活用する 桜並木、桜の公園を名所にする バイパスの桜の種類を統一する お花見場の整備 造園業にかかわってきた方(シルバーさん)に手入れをしてもらう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力があれば戻ってくるし、それにより担い手もできる</li> <li>子どものころから楽しい思いを残す工夫が必要</li> </ul>
戻ってきたいまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者の田舎離れが加速している</li> <li>若者のUターンやIターンが少ない</li> </ul>		
地域の担い手育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>若い世代の地域の定着・関心・関わり方が低い</li> <li>若者との交流が少ない</li> <li>行事イベントに参加する若者が少ない</li> <li>若者が参加しやすいイベントが少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕組みの見直し</li> <li>地域の担い手育成</li> <li>地域内に既存する各種団体との連携(消防団など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校の役員になるとその人ひとりに対して充て職が集中する → 分担ができない → 担い手不足につながる</li> </ul>
若者の繋がり	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者同士のつながりを提供する場がない</li> <li>若者同士の横のつながりが少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたち、20、30、40代が意見を言える環境をつくる 過去カレンダーにケチをつける会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不平不満は言いやすいし、参加しやすいのでは。しかしそれが本当の目的ではなくて、その会を開くことにより若者が集まりつながりが出来ていくことに期待が出来る</li> </ul>
女性に優しいまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性に向けたまちづくりがされていない</li> </ul>		

【未婚・婚活】

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
出会いの場の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 30代～40代の独身男女が多い</li> <li>・ 50代以上の独身者がいる</li> <li>・ 出会いの場が少ない（婚活活動がない）</li> <li>・ 婚活中に何か活動できる、または遊び・話せる場がない</li> <li>・ 嫁、婿が少ない（親と同居しない）</li> <li>・ 若い人は地域や家（柄）にしばられ結婚ができない現状がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企画しようと思う若者の発掘 子どもも企画に入ってもらおう</li> <li>・ 人と人との出会いの場をつくる → かたくなるしくないようなイベント</li> <li>・ 年祝いイベントの開催（出身地は問わない） 摺沢振興会主催で募集する お参りツアー（年祝い） 55（55歳対象 GOGO）イベント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10年ほど前、交流の場があった</li> <li>・ 歌声喫茶</li> <li>・ 空き家対策になる</li> <li>・ 場所はある</li> <li>・ 管理はだれが行うのか（掃除など）</li> <li>・ 出身地を問わないことで出会いが広がる</li> <li>・ 55の前にもイベントがあっても良い</li> </ul>

【イベント】

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
魅力あるイベントの創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外から人を呼び込む魅力な文化、祭り、活気がない</li> <li>・ 大勢の人が参加できるイベントが少ない</li> <li>・ 都会に行っている人が自然と帰ってきて参加できるような祭りが少ない</li> <li>・ さまざまな行事をもっと取り組むべき</li> <li>・ 人の集まる楽しいお祭りが少ない</li> <li>・ 水かけ祭りのような伝統的で大きい祭りが少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもも企画に入ってもらおう</li> <li>・ 親も一緒に楽しくする方法を考える</li> <li>・ 商工会青年部にイベントの主催をしてもらう</li> <li>・ イベントの際に露天商を呼ぶ</li> <li>・ スポーツを通しての交流イベント</li> <li>・ 年齢制限のあるまちづくりワークショップ</li> <li>・ 砂鉄川を活かした祭り、イベントの開催</li> <li>・ ほら吹き大会や上司が馬鹿真似する大祭りなど</li> <li>・ 年に一度の大イベントを行う</li> <li>・ クラフト市の開催</li> <li>・ 目玉イベントの創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもが出れば集客につながる（親、祖父母、親戚など）</li> <li>・ 小さい頃に地域のイベントにたくさん参加していると、いずれは地域に戻ってくるのではないかと → 担い手の確保につながる</li> </ul>
今あるイベントの現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若者が参加しやすい祭りが少ない</li> <li>・ 摺沢全体でまとまって祭りや行事をやっていない</li> <li>・ あんどん祭が盛り上がり欠けている</li> <li>・ 地区民運動会やお祭りなどイベントへの参加者が少ない</li> <li>・ 自治会行事への参加はメリットがわからない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベントのやり方の見直しをする → 見直しをする場合には若者や子どもの意見を取り入れる</li> <li>→ 既存のイベントをだきあわせて行う</li> <li>→ 内容を見直す</li> <li>→ 場所を見直す</li> <li>→ 時期を見直す（三年祭、五年祭にして盛大に行う）</li> <li>→ 各種団体を見直す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ムダとムラをなくして効果を上げる！</li> <li>・ 秋祭りの厄年の人が担ぐおみこしの人集めも大変な状況</li> <li>・ 国道、県道、線路もあり場所や駐車場の確保も近くには難しいのも現状車社会の中では避けられないところではある</li> </ul>
イベントの回数・日時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 祭りやイベント、行事が多い</li> <li>・ イベントなどたくさんあるが日曜日に集中してしまい参加できない</li> </ul>		
イベントの場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベントの場所が狭く集まりにくい</li> <li>・ お祭りの時の道路閉鎖をもっと短い時間</li> </ul>		

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
	にしてほしい		
地域の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種団体がバラバラの動きをしている</li> <li>イベントでの連携（商店会、文化活動、学校、地域間）が取られていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントの連絡の仕組みを見直す</li> </ul>	
誰もが参加できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントや地域会議などが平日の日中に開催されることが多く、働いている人の意見が集約されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタンプラリーを取り入れる あんどん祭、元気市、秋祭り、グルメ市…など</li> </ul>	
伝統	<ul style="list-style-type: none"> <li>昔ながらの祭りがない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大東町内で力を合わせて伝統芸能祭りをを行う</li> </ul>	

### 【雇用・産業】

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
土地・エリア・地域性	<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模農業にむかない土地・山が多い</li> <li>平地が少なく起業を目指せない</li> <li>冬道で通勤が大変</li> <li>通勤に時間がかかる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各企業にこの町をPRする</li> <li>宅地開拓やサービス、インフラ整備をする</li> <li>砂鉄川の活用 リバーサイドを開発し民宿をつくる 砂鉄川・曾慶川の環境整備、改修を行う 河川敷公園を作る あゆのやな場 水の良さを生かして川のプール 魚釣りが自由にできるようにする 砂鉄川沿いを桜並木にする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人気の釣りスポット</li> <li>道路もあるので大雨の時にも逃げられる。</li> <li>若者のニーズある？</li> </ul>
産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然を活かした働く場がない</li> <li>基礎となる産業がない</li> <li>これという名物、特産品がない</li> <li>大手企業がない（工業団地がない）</li> <li>「おらほの〇〇〇」感が不足している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誘致活動をする</li> <li>受け入れ体制を整える</li> <li>さまざまな会社、企業をバイパス周辺に設置する</li> <li>地域的な経済特区などの経済活動に力を入れる</li> <li>摺沢をPRしていく 暮らしやすい地域（金融機関・本屋・病院などそろっている、ネットの通信速度も良い、空き屋→住むところはある） 自然に恵まれて安心して暮らせるまち パンフレット ご当地キャラ作成</li> <li>6次産業（商品開発） 摺沢総産直化 都心部や海外へ移送 インターネット販売</li> <li>摺沢地域ならではのブランドを作る 自然農法や有機農業を増やし、この地域のブランドにする すでにブランド化している肉類やキノコを使う 昔とれたウナギやアケビがもう一度採れるような環境整備をする 郷土料理、摺沢だんごをつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ただし企業にメリットが必要</li> </ul>

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ごとに特産物を指定し互いに助け合わないと生活できない仕組みを作る</li> <li>・自給自足の知識や技術を住民に広くつなぐ体制をつくる</li> <li>・沿岸部に近い点から生鮮食品の加工を行う</li> <li>・各地域でやっている農業、産業を集約する</li> <li>・学校付近に福祉施設や病院をつくり、若い世代が興味をもち将来の担い手育成につなげる環境整備をする</li> <li>・旧摺沢小学校を介護施設にする</li> </ul>	
働く環境・待遇	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給料が安い</li> <li>・普通の人が普通に暮らすための職場、仕事が少ない</li> <li>・働く形態が変わった</li> <li>・一極集中</li> <li>・高齢者でも元気で働ける人の体制がない</li> <li>・女性の雇用時間が生活に伴っていない</li> <li>・雇用の機会でもある福祉分野の施設がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社、工場を誘致し、働く場所、職種を増やす (行政、商工会、振興会でセールス活動)</li> <li>・高収入の仕事を増やす</li> <li>・企業融資を行う</li> <li>・さまざまな分野、人とコミュニケーションをとる</li> <li>・家から通えるところで働く</li> <li>・中高年世代が短時間で簡単な作業が出来る仕事場の創出</li> <li>・市が10年間法人税を50%負担する</li> </ul>	
職場・職種の数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望する仕事がない</li> <li>・若者の職種の選択肢が少ない</li> <li>・Uターンして来ても職場が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事探しの手伝いをする</li> <li>・ネットワークを充実してソフトハウスを誘致(避暑地、花粉が少ないなどアピール)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外で勉強したことを活かせる地域に!</li> </ul>
将来性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の生活設計が見えない</li> <li>・若者の心に魅力を感じる事が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外にいる人に地域の様子を伝えて考えてもらう インターネットで発信</li> <li>・興味ある学生などを呼び込む(地域おこし協力隊などの制度を活用) 地元の職人に学びたい人をインターンとして迎える 「摺沢でできること」と「やりたいと思っている人」のニーズを調べてマッチングする</li> <li>・地元の企業を応援する</li> <li>・地元企業が地元の学校と情報交換をしPRの機会をつくる</li> <li>・現状把握や同業種の研究をし、長所短所の見極めをし、可能性を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者や外部からの人のアイディアや視点を取り入れる</li> </ul>
農林業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業では食べていけない</li> <li>・雇用主と働きたい人のマッチングがされていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定年帰農者への支援制度を検討する</li> <li>・食料自給率100%のまちにする</li> <li>・会社を設立して農業を請け負う</li> <li>・現代版百姓 農業1本でなく、複数の生業で生計を立てる(副業)などの生き方、働き方もあることを提示 例)夏→農業、冬→林業・狩猟・デザイナーなど</li> <li>・田んぼを他の作物に転換 (トマトやきゅうり、ブドウ、りんごなど。発想を変える。地形もあって</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年金受給以上の取得確保ができる</li> <li>・安定した収入を得られる</li> <li>・土地が使いたくても使えない → やりたい人を後押し</li> <li>・農業コミュニティが壊れて維持できないため</li> <li>・林業→環境保全、ニーズある</li> </ul>

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
		るのでは) ・食に関する団体と連携を図る ・土日のみ農業をする ・自然を活かした働く場の創出	考えられる効果・意見 狩猟 → 射撃場がある
経営者を育てる	・後継者の流出 ・経営者の老年化 ・異業者同士の協調と情報交換などが不足している	・起業を支援する 職人を育てるための奨学金を出す (外で修行したら地元に戻って開業してもらう) ・農業、起業で成功した人に講師やトークイベントをしてもらったり、パンフレットを作成したりする	・摺沢でも仕事ができる、やりたいことができるということを感じてもらおう

【生活】

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
交通・公共交通	・交通手段の時刻、本数が少ない ・公共交通機関が少ない ・スクールバスが来てくれない ・山沿いの離れた所はバスの時間が少ない ・山沿いの離れた所は交通の便が悪すぎる	・駅の活用 摺沢駅を中心に病院、飲食店、など摺沢駅総合開発を行う 総合ショッピングモールを含む、複合施設の駅ビル化 産直を置く コミュニティセンターでの催し、イベントを行う みんなが憩える場所を作る JRとのコラボ(ポケモン列車の周知)を行う ・ホールが併設されているので電車の本数を増やす ・バスの時間を合わせる(摺沢各地に足が運べる) ・市営バスに関するアンケート実施して必要な人が平等に利用できるようにする ・市営バスはどこでも乗り降りできるようにする ・バスをワゴン車などの小さめの車にする ・交通の便の良さを利活用する ・道路網の整備をする ・交通状況や道路、買い物、公共施設を充実させていく 交通手段の確立を行政に働きかける ・大船渡線からバイパス側へBRT(バス交通)で直結する交通システムを作る ・交通網を職に流便する 鉄道→利用した流通ルート of 考案 ・新笹ノ田トンネルの実現	
管理・整備	・道路が悪い ・街の道路が狭い ・歩道の状態が悪い、ない ・山沿いの離れた所は歩道がない ・道路標識が見えにくい ・冬期の道路環境が悪い ・場所によって除雪が	・道路をフラットにする ・歩道、自転車道の拡張 ・道路の整備のために地主とのパイプ役になる ・一関方面の中来山の生出を荒瀬に改良する ・街灯を増やす ・大東高校の乙女坂の除雪を行う ・融雪溝を設置する	・通勤が楽になる ・冬場安心

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・されていない</li> <li>・雪解け水が歩道にたまり冬場の凍結が危険</li> <li>・冬の間、安全に暮らせる場所がない</li> <li>・街灯が少ない</li> <li>・登下校の道が危険</li> <li>・危険箇所が多い</li> </ul>		
インフラ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路上駐車が目立つ</li> <li>・車社会なのに駐車場がない</li> <li>・トイレ（公衆、道の駅）がない</li> <li>・施設が分散して気軽に利用できる状態にない（公園、体育館、野球場、ホール）</li> <li>・文化、スポーツ使用料の支払い方法が面倒</li> <li>・ゴミ処理場の有効活用がされていない</li> <li>・燃えるゴミの収集日の間隔が狭い</li> <li>・駅が高校生カップルのたまり場になっている</li> <li>・昼間行き来する車が摺沢に立ち寄らない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受け入れ体制を整える</li> <li>・トイレをわかりやすい場所につくる</li> <li>・老人、子供に優しいまちづくり</li> <li>・摺沢をベッドタウンにすむところはある→空き家の利活用</li> <li>・中心地を位置づけ、コンパクトシティ化を進める</li> <li>・インフラ整備（下水道の整備）をすすめる</li> <li>・駐車場を増やす</li> <li>・かんぶんから四つ角まで街路整備し、第2の商店街をつくる</li> <li>・商店街が自由に出店、増改築ができるような環境作りをする</li> <li>・駅前に気軽に寄れるカフェをつくる</li> <li>・大東図書館にカフェを併設する</li> <li>・コワーキングスペース自由に集まってミーティングしたり、学生（大東高校模擬株式会社など）と社会人の交流の場</li> <li>・宿場町にする</li> <li>・摺沢を拠点に近隣地域を観光地に外国人観光客と民泊のマッチングをする</li> <li>・風情ある街並みを活かす（昼の顔、夜の顔）</li> <li>・蔵が残っている仲町の裏通りの活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 遊歩道の整備をして、散歩道にする</li> <li>→ 伝統的建造物群や登録有形文化財の選定など空き家を活用した商業活動、観光を行う</li> <li>→ 現存する蔵の再利用化と商店の集合化を図り、特徴ある街づくりを進める</li> <li>→ 蔵でイベントを行う</li> </ul> </li> <li>・バイパス沿いの活用</li> <li>・街路樹、桜を植える（桜並木）</li> <li>・バイパス脇の壁画の掃除、補修を行う</li> <li>・壁画の場所を増やす</li> <li>・空き家を民泊にする</li> <li>・ゴミ処理場の熱源の利用</li> <li>・温泉、スーパー銭湯、温水プールをつくる</li> <li>・ごみ処理発電で電気代を安くする</li> <li>・地域エネルギーによるまちづくりの推進</li> <li>・小規模水力発電、風力発電、木質バイ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用は外で、生活は摺沢で楽しめる</li> <li>・公園の整備</li> <li>・生活しやすいこの立地を将来的に継続させることが出来る</li> <li>・駅周辺を人が集まるポイントにして、新たな出会いやアイデア、連携などが生まれるきっかけの場にする</li> <li>・ゴミ処理場→エネルギー源</li> <li>・ないものをつくっていく</li> </ul>

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
		<ul style="list-style-type: none"> <li>オマス熱源、代替フロン発電など</li> <li>電柱を地下化して街並みを整備する</li> <li>パークゴルフ場をつくる (曜日を分けて一般、婚活など特典を付ける)</li> <li>摺沢体育館のホール改修を行う</li> <li>市民センターを気軽に立ち寄れる環境にする</li> <li>製材所の騒音対策をする</li> <li>摺沢の見どころを調べる ヨソモノの視点を入れる</li> <li>アプリ(ポケモンGO)の活用 → 摺沢は電車が通るまち(ポケモン列車)</li> </ul>	
商店・買い物	<ul style="list-style-type: none"> <li>摺沢商店街が衰退している</li> <li>専門店の減少</li> <li>集客性のある施設がない</li> <li>大型店がない</li> <li>街に活気がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>四つ角などの商店街の整備をする</li> <li>地元を活用するように行動する</li> <li>ニーズを調べてマッチングする 商店・小売店は配達できるようにする</li> <li>土日だけでもよいから地元商店や企業家に店を出してもらう</li> <li>地域商社「摺沢ホールディングス」の設立</li> <li>ノウハウの共有 一流企業に勤めていた人のノウハウを教えてください「あきんど塾」</li> <li>お店をオープンさせる人を支援する</li> <li>芸能人とのコラボ商品を出す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まずは地元聞いてみる</li> <li>どこかがなくなっても(後継者がいないなどで廃業)どこかでつながる</li> </ul>

#### 【地域間交流】

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
全国	<ul style="list-style-type: none"> <li>Uターン、Iターンを呼び込む活動が足りない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Uターン、Iターンの人が住みたいと思える地域づくりをしていく</li> <li>他地区との比較の中で摺沢の良い点を見つめなおし、存在意義を見出してゆく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般市民が行き来する</li> <li>地域のルーツを通して文化交流が生まれる</li> </ul>
市内	<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣地域とのかかわり方が薄い</li> </ul>		
大東町内	<ul style="list-style-type: none"> <li>大東町内の交流が少ない</li> <li>地区間のつながりが薄くなっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>摺沢の姉妹地域をつくる</li> <li>同じ課題の地域と情報交換をする</li> <li>震災関連の絆を活かす</li> <li>他地区、他県の良いところをどんどん取り入れていく</li> <li>外部からの移住を促進させるような優遇措置を検討する</li> <li>地域に一度住んでもらう「お試し体験」を企画する</li> <li>大東町内で伝統芸能祭りをを行い都心部で公演を行う</li> </ul>	
摺沢	<ul style="list-style-type: none"> <li>摺沢全体でできる交流活動がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元の人との交流できる場所づくり</li> <li>旧中心地区を改造し活性化につながる施設を充実させる</li> </ul>	

#### 【安心・安全】

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>街灯が少ない</li> <li>子どもが安全に歩ける歩道、横断歩道がない</li> <li>スクールバス環境が</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>街灯を設置する</li> <li>花を植え、街灯がない道路の雰囲気明るくする</li> <li>専門会議を行う</li> <li>各地域の自治会長や区長が集まって</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夜にランニング、ウォーキングが出来るようになる</li> <li>花畑に紫蘇やラベンダーなどの香草を加えて</li> </ul>

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
	<ul style="list-style-type: none"> <li>整っていない</li> <li>カーブミラーが壊れたり割れたりしている</li> <li>高齢者ドライバーによる駐車場での物損事故が多い。</li> </ul>	<p>情報交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>回覧版で意見を集める</li> <li>登下校に安全な道を使えるようにする</li> <li>通学路に歩道フェンスをつける</li> </ul>	<p>「ご自由に摘んでください」などしたら皆が手入れをしてくれるのでは…</p>
防災・災害	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時避難場所が移住にはわかりづらい</li> <li>自然災害の復旧対応が遅い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練を行う 安心な生活だからこそ、防災の十分な意識づけを行う機会を作る → 年に一回は外に出て確かめる 避難場所、物の備え、役割分担、人工呼吸、AED 経験者の話を共有</li> <li>避難場所のパンフレットを作成する</li> <li>専門会議を行う 各地域の自治会長や区長が集まって情報交換 回覧版で意見を集める</li> <li>コミュニティーセンターで宿泊体験 防災グッズ販売（かんぱん、道具）</li> <li>避難訓練を他のイベントと一緒に開催する （輪投げ大会や運動会） 消防署にも来てもらう</li> <li>消防団員の確保に努める 災害時に動ける人が必要</li> <li>子どもも参加できるように子供会と連携を図る</li> <li>危険箇所の看板の周知・点検（土砂災害）</li> <li>災害時の情報管理 震災の時に困った事を残す</li> <li>土砂災害が起きた際は市に対策を取ってもらえるようかけあう体制をつくる</li> <li>土砂災害の場所から移転するために土地を紹介する</li> <li>災害時まわりの地区への支援を積極的に行う</li> <li>F Mあすもの活用 PRする（使い方も広める）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年代によって温度差がある。若者、地域に参加しない人は避難所へ避難しないことがある。</li> <li>遅れて避難所に避難した人を受け入れられる雰囲気や備えが必要。</li> <li>使っている人は少ないのでは？</li> <li>使い方を知らない人もいる</li> </ul>
防犯	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨今の犯罪が巧妙化している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯の啓発活動を行う</li> <li>安全を保つため、みんなで声掛けを行う</li> <li>地域のつながりを大切にしていく</li> </ul>	

【情報発信】

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
ハード	<ul style="list-style-type: none"> <li>通信網が整っていない（LTE、地上デジタルの電波、携帯電話の電波）</li> </ul>		
ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報発信（広報活動）不足</li> <li>情報発信力が足りない</li> <li>PRが足りない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>摺沢の年間行事カレンダー（全戸配布）作成 行事や人の情報収集 各地域でやっているイベント → 祭、スポーツ、清掃活動など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種団体が何をやっているのかわかる</li> <li>行事が多いところもわかる</li> <li>予定を立てやすい</li> </ul>



テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベントのお知らせがこない、知らない</li> <li>・ 異業者同士の協調と情報交換が不足している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヤンル分け <ul style="list-style-type: none"> <li>→ イベント時の出店の募集</li> </ul> </li> <li>・ 小中学校のイベント情報も共有 <ul style="list-style-type: none"> <li>上半期・下半期に分ける</li> </ul> </li> <li>・ インターネット、スマホの活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>摺沢の年間行事カレンダー <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 使える人…インターネット版</li> <li>→ 使えない人(お年寄りなど)…大きいサイズのわかりやすいカレンダーを作る(文字を大きく、イラスト入り、紙)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・ FMあすもを利用する</li> <li>・ 今年やった行事を振り返るカレンダー(目に見える化)</li> <li>・ バスの路線沿いの施設情報発信</li> <li>・ 回覧版の内容を充実させる <ul style="list-style-type: none"> <li>目次をつける。情報はまとめて、回数を減らす</li> </ul> </li> <li>・ 地元の会社によるまちなか教室開催</li> <li>・ 摺沢(大東町)内の企業の懇親会(ブレゼン)の場を提供する <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 事業所同士で集まる</li> </ul> </li> <li>・ さまざまな業種が手を取り合って市民と一緒に行動を起こす <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 文化祭に企業ブースを設けるなど</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8～9月は行事が多い</li> <li>・ 盛岡行高速バス摺沢駅にも停まってほしい!</li> <li>・ 若者…回覧板を見ない、頻度が多いと感じる</li> <li>・ 地元の会社を知ることができる</li> <li>・ 地域からも企業へ声をかけ、交流を図る</li> </ul>

【空地・空家】

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
住居	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空地が多い</li> <li>・ 空家が多い</li> <li>・ 無人の家が多く危ない</li> <li>・ まちなかに古い建物があるとイメージダウンになる</li> <li>・ 四つ角の廃屋、見るに忍びない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談室を作る <ul style="list-style-type: none"> <li>空地、空家情報を集める <ul style="list-style-type: none"> <li>→ どこに何があるか調査が必要</li> </ul> </li> <li>所有者の考えも聞く</li> <li>住みたい人、売りたい人の仲介・窓口役</li> </ul> </li> <li>・ 空き家を施設、イベントに活用する <ul style="list-style-type: none"> <li>企業、学童、スポーツ施設、集落、合宿所、レストラン、イベントなど <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 一か所にまとめる</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 摺沢ホールディングスや空家活用株式会社の設立</li> </ul>
商店	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空地が多い</li> <li>・ 商店街に空き店舗が多い</li> <li>・ まちなかに古い建物があるとイメージダウンになる</li> <li>・ 四つ角の廃屋、見るに忍びない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グリーンツーリズム(季節ごと)カフェなどの気軽に人が集まれる場所</li> <li>・ 借家制度を町をあげて取り組む</li> <li>・ 都会の人に空家、空き地を提供して別荘地化を図る <ul style="list-style-type: none"> <li>田舎に興味のある人を募集する</li> </ul> </li> <li>・ 崩れそうな空き家は早く手を打つ</li> <li>・ 空き家は行政に働きかけ、相談・話し合いの場を持つ</li> <li>・ 空き家を積極的にリフォームし再生させる <ul style="list-style-type: none"> <li>引退した大工さんや得意な方にリフォームを格安で行ってもらう</li> </ul> </li> </ul>	
農業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空地が多い</li> <li>・ 休耕田が増えている</li> <li>・ 高齢化が進み田畑が放置されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 休耕田の団地化</li> <li>・ 農地への活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 菜の花畑をつくる</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 春の景観にもよく、散った後には油がとれる</li> </ul>

【宅地・住宅】

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
土地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地がない、高い</li> <li>・土地を売ってくれる人がいない</li> <li>・土地を貸しても売ってくれない</li> <li>・マイホームを建てられない</li> <li>・若い世代が家を建てられるような宅地がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談室を作る 空地、空家情報を集める → どこに何があるか調査が必要 所有者の考えも聞く 住みたい人、売りたい人の仲介・窓口役</li> <li>・宅地造成、インフラ整備を行う</li> <li>・住宅、団地の整備 建築会社や大工さんを調べておき協力体制を作っておく</li> </ul>	
住まい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・賃貸住宅が少ない、高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・摺沢への移住者支援の仕組み作り 税の軽減、補助金の支給、家賃の割引など（地域活動に参加してもらうのを条件としても）</li> <li>・雇用促進住宅の継続を検討する</li> </ul>	

【福祉】

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
サポート体制の不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護施設が充実していない</li> <li>・福祉分野の充実がしていない</li> <li>・高齢者世帯や障がい者を地域で見守る体制が不十分</li> <li>・高齢者の病院受診の介助やボランティアがいない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族に寄り添える町づくりを行っていく</li> <li>・気軽に足を運ぶことができる場をつくる</li> <li>・老人福祉施設をインフラ整備が整っている摺沢に誘致する</li> <li>・子どもから高齢者まで豊かに人生を過ごすことができる環境の整備をする</li> <li>・一人暮らし世帯や高齢者世帯に声掛けをしていく</li> <li>・高齢者を見守っていくために行政、自治会の役割のあり方を検討する</li> <li>・安否確認システムの仕組み作り 黄色いハンカチ 見守り、かけつけ順番制度（仮） 民間事業者の活用 テクノロジー</li> <li>・福祉のリハビリを目的とした施設をつくる プール、温泉、健康器具の設置</li> <li>・固定資産税を無料にして、個人病院を誘致する</li> <li>・介護のシェアハウスを作り運営を元気なシルバーの方をお願いする</li> <li>・有料（低額）ボランティアの設立 勤務している人がボランティアに携わると商品券などで還元を行う</li> <li>・行政で高齢者活動の援助はするが、次第に自分たちでできるように見守っていく</li> <li>・医療関係と連携が取れるシステムの確保 夜間に自宅で看取ることが出来る 往診による死亡確認</li> </ul>	
交通手段の不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者や免許のない方の交通手段が確保されていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営バスの活用（定期・定時運行） 買い物や通院のほか、スクールバスなどで利用幅を広げる</li> </ul>	

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の車の危険運転が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チケット配布で“から輸送”を避ける使用していない時間の利活用</li> <li>・乗合タクシー</li> <li>・ボランティアで無料送迎を（ネコの手クラブのような）してくれる方を増やしていけるように、活用できるチケットを発券する</li> <li>・交通手段の確立を行政に働きかける</li> <li>・バスをワゴン車などの小さめの車にする どこでも乗り降りできるようにする</li> </ul>	
コミュニケーション不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者たちの交流施設がない</li> <li>・高齢者が集う場（サロン活動）が少ない</li> <li>・高齢者の活動する場が少ない</li> <li>・高齢者が新しいことを学ぶ機会が少ない・高齢者が楽しく生き生きと過ごせる環境対策が不十分</li> <li>・家が点在しているため住民間のコミュニケーションが取りにくい（家の中にこもりがちになる・孤立することが多い）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者施設や病院を作る 旧摺沢小学校の未活用の場所を使用する 空家の利活用</li> <li>・高齢者が講師になる伝承学習</li> <li>・地域で友達作ろう作戦</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用が増える、人口増になる</li> <li>・老人クラブの老老介護 → 友達が亡くなるから行かなくなる</li> </ul>
生活の不安	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域が経済的に生活しにくい</li> <li>・今はいいが老後の生活が不安</li> <li>・高齢者でも元気で働ける人の体制が整っていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人にやさしい町づくりの推進 買い物、その他生活支援、道端や店ごとにお休み処を設置する</li> <li>・中高年世代の短時間で簡単な作業が出来る仕事場の創出</li> </ul>	
ハード	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化社会に優しい歩道の整備がなされていない</li> <li>・公共施設のトイレが子どもやお年寄り向けに対応していない</li> <li>・高齢者や障害者が安心して過ごせる公園、散歩コース、お休み処がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道の整備をする 融雪溝の設置</li> <li>・市民の保健センターを有効活用する（入浴施設、健康器具の揃った機能訓練室、厨房など）</li> <li>・公衆トイレの設置 コンビニ以外で、誰でも使える</li> <li>・学校付近に福祉施設や病院をつくり、若い世代が興味をもち将来の担い手育成につなげる環境整備をする</li> </ul>	
担い手の資質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員の選出方法が不透明</li> </ul>		

#### 【医療】

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
医療機関の不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療関係が充実していない</li> <li>・病院が少ない</li> <li>・専門の医療機関（皮膚科、眼科、耳鼻科、小児科、産婦人科）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師への支援を行う 地域に戻ってきてもらうようにする</li> <li>・土地購入費や賃貸料の優遇 一定期間は無償や低額で土地や空き家などを貸し出す、固定資産税を無料にするなど、摺沢で医療機関</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰が行うのか？</li> <li>・住民にも利点</li> <li>・罹患者数を抑制し医師不足を緩和する</li> <li>・まちづくりアンケート結果、診療科の拡充 小</li> </ul>

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
	<p>ど)がない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師不足、その支援策も不足している</li> <li>・医療関係が旧一関市内に集中しているため交通費や時間がかかりすぎる</li> <li>・調剤薬局がない</li> <li>・薬局が足りない</li> </ul>	<p>を開業したくなるような誘致活動をする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かかりつけ医と専門医の連携をスムーズにする</li> <li>・地元の医者を大事にする</li> <li>・県立病院の充実、連携を図る</li> <li>・介護士、看護師の実習学校の誘致を行う</li> <li>・大東病院の摺沢への移転 商業施設が多く、交通の便の良い摺沢に移転することで、医師が赴任しやすい環境を実現する</li> <li>・DNA診断の実施 将来の疾病リスクを明確にし予防に役立てる がん、脳卒中、糖尿病、認知症…など自分のリスクを知ることによって予防に役立てる</li> <li>・大東病院との意見交換会の開催 大東病院医師募集（診療科目）内科、神経内科、外科、整形外科</li> <li>・マイクロRNA診断の実施 一滴の血液から13種類のがんの超早期発見が可能</li> <li>・一般向け健康情報検索エンジンの開発 疾病予防、疾病の早期発見、自覚症状、治療法、病院検索など効率的に行える 検索エンジン がん治療後など5年生存率が高いときに医療機関の検索結果を得られるようにする</li> <li>・診療支援システムの開発（医師不足の切り札） 情報技術革新によりコンピューターが診断・治療をサポートし医師不足を解消する 医学をプログラム化、専門医と同レベルの知識を持つコンピューターシステムを構築する 診断のために必要な問診内容、検査項目を助言するすべての医療データを統合管理する 画像診断を自動化する、誤診・医療事故を防止する機能を搭載する 治療記録が得られた情報を新薬の開発などに活用する 医師が医師を支援できる仕組みも盛り込む</li> <li>・摺沢になくても近隣を利用する → 交通手段の充実が必須</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児科（16件）、眼科（8件）、皮膚科（5件）、耳鼻科（4件）、産婦人科（3件）、婦人科（1件）、神経科（1件）とのミスマッチを解消する</li> <li>・がんを超早期発見することで治療が容易となり、医療費の抑制、医師不足を緩和できる</li> </ul>
医療情報の不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前に進むにはどうすれば良いか素人ではわからない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康情報のアーカイブ化 大東図書館での地上波、BS放送で配信された健康番組を収録し、アーカイブ化 住民が閲覧できるようにする 疾病予防、早期発見、治療法など情報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の健康意識が高まれば、予防につながり医師不足を緩和できる</li> <li>・三大疾病の予防により医師不足を緩和する</li> </ul>

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
		面で住民を支援する ・ 摺沢の住民による健康維持の勉強会を開催し、情報をインターネットで公開する 住民が必要としている疾病予防、早期発見、治療法などの有益な情報をメディア、医療機関、一関市役所などから入手し、提供を行う ひとり暮らしの方に向け脳卒中の早期発見法を提供し重篤になる前に救急車を呼んでもらえるようにする ・ 三大疾病予防のパンフレットの配布講座に出られない方に向けたパンフレット ・ 住民が健康に興味を持つための活動を行う	
相談先がわからない	・ 健康に関する相談などどこにすればよいかわからない	・ 通院の際の相談窓口を設置する → 何科にかかったらいいかわからない時など	

【健康】

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
健康維持	・ 住民の健康維持の取り組みが少ない	・ 高齢者が交流できる場をつくる ・ 地域の人たちが声を掛け合ってウォーキング、ラジオ体操を積極的に行う（世代間が参加できるように） ・ 摺沢小唄、大東音頭を現代風にアレンジ ・ 笑い講座の開催 健康増進＝笑い ・ 健康増進の推進、意識啓発→検診受診等の努力 住民は自分の健康に責任を持ち、疾病の予防・早期発見・健康づくりに努める ・ 健康の段階に対応したエビデンスとナラティブに基づいた情報を発信、提供する ・ 情報発信 ・ 健康意識の高い町摺沢の実現 大東病院と住民の意見交換会、疾病予防講座、勉強会などの内容をインターネットで発信する 住民の健康意識が高く医師が必要とされている町であることを伝える ・ 疾病予防講座の開設 三大疾病など予防、早期発見、治療法などの講座を大東病院院長にお願いする ・ 禁煙のまち摺沢の実現 喫煙はさまざまな病気の原因となっている がん（肺がん、喉頭がん、食道がん、胃がん、大腸がん、肝がん、すい臓がん、膀胱がん、子宮頸がん、白血病）、脳卒中、大動脈解離、COPD、ぜん息、肺炎、肺結核、2型糖尿病、骨粗鬆症、関節リウマチ、白内障	・ 高齢者でも SNS など積極的に活用 ・ 今後は病気にならないように予防の取り組みが大切 ・ 足腰の強化に ・ 情報を知らない住民が多い ・ 重篤な疾病の予防、早期発見により医師不足を緩和する ・ 禁煙により罹患者数を抑制し、医師不足を緩和する、医療費も抑制できる

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
		<ul style="list-style-type: none"> <li>世代間交流をする 全世帯、全年代が参加できる仕組み</li> </ul>	
施設整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>気軽に利用できるスポーツ施設や運動公園がない</li> <li>体育館などの施設設備が整っていない</li> <li>公式競技大会を誘致できるような体育設備がない</li> <li>冬期間のスポーツ施設が少ない（暖房施設）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>摺沢公園の整備 グランドゴルフ場やウォーキングコース、遊具、トイレなどの環境整備をする</li> <li>定期的なメンテナンス 休息できる設備</li> <li>フィールドアスレチックなどを備えた公園の造成 振興会が中心となって管理をする</li> <li>使用範囲が広い公園</li> <li>大東野球場の外野の芝生化</li> <li>冬期間もスポーツができる施設の新設、現在ある摺沢体育館の改修</li> <li>公式競技を誘致できる規格の体育施設の整備</li> <li>温泉をつくる 銭湯跡地を利活用 空き家を宿に ナーススナック（血圧などの測定をしてもらって、今日は飲んで OK など専門家のアドバイスをもらいながら健康的に呑む）</li> <li>B &amp; Gの誘致 地元出身の競艇選手（中沢カズシ氏）がいる</li> <li>コミュニティセンター 2階のスペースに運動器具を置く</li> <li>トレーニング施設へ送迎を行い、ポイント制度を利用して利用率をあげ、健康寿命を後押しする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>使われていない体育館も多い</li> <li>現在の摺沢公園 → 暗い、アクセスが悪い</li> <li>使い方がアレンジできる</li> <li>人のたまり場になる</li> <li>雇用が生まれる</li> </ul>
少子化	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの人数が少ないため、スポーツ種目を増やせない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>摺沢独自のスポーツ文化を作り上げる</li> <li>全国に通じるスポーツマン育成を行うトレーニング施設を新設、移設する</li> </ul>	
子どもの健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どものゲームから離れる時間の確保や、体を動かし子どもの肥満予防に取り組む機会が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他地区の子どもたちも入れてエリアを広げ、スポーツを楽しむように大人たちが支える</li> </ul>	

#### 【支えあい・地域活動】

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
全員のまとまりがない	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民が“誇り”となるものを見失っている</li> <li>夢を語れない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>摺沢の良さをもっと認識し、摺沢に誇りを持つ</li> <li>良さに気付く、良さを気付かせる</li> <li>よその部落からヒントを得てやってみる</li> </ul>	
人まかせ	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーダーの欠如</li> <li>地域リーダーの担い手不足</li> <li>自治会などの役員のなり手が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プレミアム高齢者の経験、知識、能力を活かせる場を作る</li> <li>身近な人々の特技や趣味を地域の活動につなげる</li> <li>役をやれない自治会の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>振興会の声に期待 個人は発言しにくい</li> <li>出たい人はいるけど、どこかで情報が止まっていたりする</li> </ul>

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活気がない、やりたい人がやる、人まかせの傾向がある</li> <li>・ 地域の活動に参加する人が減少</li> <li>・ 地域課題への当事者意識の欠如</li> <li>・ 一関市に頼りすぎている</li> <li>・ 行政を頼ろうとする傾向がある</li> <li>・ 住民と行政が一体となって対策を考えていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治会活動に地域のPTAも一緒に加わってもらう</li> <li>・ 女性の人材の活用 元気なまちは女性が元気だったり、リーダーになっている</li> <li>・ 高齢になってもこの町のいきいきしたことに携われるような仕組みを作る</li> <li>・ 情報を広げる</li> <li>・ 摺沢まちづくり課の新設 まちづくりのため市役所各課との調整を行う窓口を設ける（要望、提案を支所に持ち込む議員を通すようにと言いつき合わないため）</li> <li>・ プロジェクト制度、評価制度の導入で課題を解決していく ＜プロジェクト制度＞ 各課題ごとにプロジェクトリーダーを公募する。 プロジェクトリーダーは計画概要を公表し、メンバーを公募する リーダーはメンバーと共に課題を解決していく。 リーダーは取り組み内容を月報を通し逐次公開する ＜評価＞ 一年に一度摺沢住民が評価する 良い点+1点、悪い点-1点 評価合計がプラスかマイナスかでプロジェクトの成果が評価される 評価持ち点は0点から始め、-3点になった時点でプロジェクトは解散する</li> <li>・ 5年ごとにアンケートを実施し目標を5年ごとに見直す 状況の変化に柔軟に対応できる仕組みを作る</li> <li>・ 摺沢ホールディングス設立 住民出資 空家空地の管理、人が足りない、イベントを一緒に行う、など地域の困りごとに対応する会社</li> <li>・ 振興会の地区委員を増員して、さらに地区民のアイデアや意見を集める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5年も経てば、状況が一変しより優先度の高い課題が出てくる</li> </ul>
冷めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まとまりがない</li> <li>・ 団結していない</li> <li>・ 視野が狭い</li> <li>・ 底辺の声に耳を傾けていない</li> <li>・ 女性の意見が取り入れられていない</li> <li>・ 活動する場が少ない</li> <li>・ 市民センターが趣味の活動の場となり、自治会活動との接点が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 横のつながりを作っていく（広がりを持たせる）</li> <li>・ 地域での困りごと相談窓口 相談者、経験者を広める → 自治会報などで 駆け込み寺な存在の人</li> <li>・ ひとりひとりの特技、知識を活かすための人材バンクをつくる</li> <li>・ 女性（おばちゃんパワー）のお茶の会の開催 60代以上、40～50代現役世代、20～30代、子育て世代、など世代ごとに各地区で偉い人抜きで本音のおしゃべり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各自治会に各分野の担当者がある</li> </ul>

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
参加しにくい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さなコミュニティーにたくさんの役職がありすぎる</li> <li>・部落の活動が多い</li> <li>・サロンにしても押しつけ行事ではなく「行ってみようか」と思う場づくりがされていない</li> <li>・市民センターが趣味の活動の場となり、自治会活動との接点が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集まる努力をする</li> <li>・サロンなどの参加を多くしていくために、ひとりひとりの参加意欲を高める工夫をする</li> <li>・事業の目的と活動内容、結果を公開し評価を受ける 労働力に見合った成果を伴わない事業を廃止する</li> <li>・活動の報告、見える化を行う 事業の見直しを発信</li> <li>・祭りなどの行事の実行委員会に医療福祉専門学校生や大東高校生を巻き込む 実行委員の募集をするなど、地域活動（祭りなど）の準備段階から、若者にも参加してもらい、なおかつ意見を積極的に取り入れることでマンネリを打開する</li> <li>・摺沢イベントカレンダー 反省用、振り返り用も用意 → 改善点を見つける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口の割に行事が多い</li> </ul>
目玉不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特色がない町</li> <li>・摺沢地域の目玉がない</li> <li>・アピールポイントがない</li> <li>・観光名物がないので他方に流れる</li> <li>・地域に対する愛着心が不足している</li> <li>・地域の学習（地域の良さ、地域の歴史など）の場がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな道のプロの方に講演、イベントを行ってもらう</li> <li>・摺沢のタウンページを作り各戸に配布する</li> <li>・石器時代から現在にいたる摺沢の歴史を資料にまとめる 当時の暮らしぶり、人口、地名や名字の由来、トピックスなど 資料に記載すべき史実をアンケートし住民から情報の提供を得る</li> </ul>	
少子高齢化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者一人世帯や高齢者だけ世帯を地域で見守る体制が整っていない</li> <li>・ひとり暮らしの孤立が目立つ</li> <li>・家が点在しているので住民間のコミュニケーションが取りにくい</li> <li>・子どもとお年寄りの交流が少ない</li> <li>・学校と地域の連携が取れていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・摺沢独自のボランティア団体を設立 シルバー人材センターならぬ、摺沢住民のための高校生以上の幅広い世代のボランティア団体を創設し、ボランティアをしたい人を募集・登録 ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯などに公的援助だけでは不足している生活支援をする</li> <li>・高齢者の見守り支援 山間地域のスマートメーターによる見守り支援を実現する通信技術を開発する 屋外 P L C を利用した長距離データ伝送技術を開発し、各電力会社に技術提供することで山間地域の見守り支援を実現する</li> <li>・子どもたちが一人世帯のお年寄りを訪問する活動を行う</li> <li>・回覧を紙ベース以外で考えてみる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営主体は市民センター？ 運営費は住民負担？</li> <li>・山間地域ではインターネット接続点までの通信手段がネックとなっている A D S L、光ケーブル、無線マルチホップ形式（900MHz帯特定小電力無線）、N無線方式（WCDMA、WiMAX、LTE）などのモバイル通信方式が利用できる （P L C = 電力線通信）</li> </ul>
支援不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落、自治公民館への支援が薄い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小沼鹿踊りをもっと演舞する機会を作る</li> <li>・自治会施設のごみステーションを設置し、資源ごみのリサイクル化を図る</li> <li>・自治会に環境整備班を設置し、作業受</li> </ul>	



テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
		託させる ・市民センターに自治会活動支援をしてもらう	

【環境活動】

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
恵まれた自然環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恵まれた自然環境を活かしきれていない</li> <li>・人を惹きつける景観が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の眺めの良い場所を探す</li> <li>・自然を活かした公園をつくる 大東町を代表するような大人数が集まり楽しめるような場所</li> <li>・散歩、サイクリングコースを作る</li> <li>・自然を感じさせる行事、イベント、活動の実施</li> <li>・川を整備する 川の掃除を行う 砂鉄川を地域の行事に活かす 砂鉄川で全国的な釣り大会 川をはだして歩けるような運動</li> <li>・今あるものを利用したり、発信の仕方を工夫したりする (テレビ番組を呼ぶ)</li> <li>・ホームページで紹介する・記録に残る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例えば星空観察会など</li> <li>・魚釣りや沢がに取りができるようにする</li> <li>・テレビで見た所はよく見える (砂鉄川、アユ釣り)</li> </ul>
高齢化(生活範囲)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市道の草刈りは地元では無理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアや草取り隊などのような活動を行う</li> </ul>	
高齢化(里山範囲)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山が荒れている</li> <li>・町の周りの山林が大きくなり、町を暗くし汚く見える</li> <li>・田畑の周りの木が伐採されずに放置されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山に山ブドウ、あけび、ぼっぼ、野イチゴ、桜、栗などを植栽、植林する</li> <li>・自然に手を加え美観にする</li> <li>・手つかずの場所をそのまま活かす工夫をする</li> <li>・自然を活かし、ふるさと納税のシステムを検討する</li> <li>・ミニ鳥居を設置する</li> <li>・大きくなった杉の木を伐採したり間引きしたりする → 間伐した杉の販売ルートの検討</li> <li>・伐採を促す条例をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例えばカブトムシ、クワガタの展示販売、蛍の観察会など</li> <li>・ごみを投棄する人が減る</li> </ul>

【世代間問題・人間関係】

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
役のなり手不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の活動や役員が押しつけ合いになっている</li> <li>・同じような人が役について活動しているため、あまり人の意見を受け入れない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体のスリム化 摺沢振興会が集約し、各部会として活動していく</li> <li>・若い世代が参加しやすい環境づくりを行う</li> <li>・老若男女が自由に集まり話し合いが出来る環境づくり</li> <li>・振興会のメンバーで考えていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・摺沢振興会理事名簿に上がっている団体が16団体もあるが、どのような活動をしているのかわからない団体もある</li> <li>・役のなり手不足で今後すべての団体の存続をさせる意義はあるのだろうか</li> </ul>
人の和がない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域全体のまとまりがない</li> <li>・地域の行事、団体活動への関心・協力・盛り上げの活気に欠け、協力体制の結集がない</li> <li>・人間関係が良くない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人たちが協力し、参加していく</li> <li>・交流をし、自然にお互いの気持ちを通じ合わせていく</li> <li>・気配りを大事にする イベントに時によっては参加出来ない時もあるが大目に見る</li> <li>・調整力の必要性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい考えが生まれてくるかも</li> <li>・多世代が一緒になるイベントがない</li> <li>・イベントが重なって客の取り合いになっている</li> <li>・人口の割に行事が多い</li> </ul>

テーマ	現状や課題	解決策	考えられる効果・意見
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の和がない</li> <li>・マナーの悪い人が多くなってきた</li> <li>・住民間のコミュニケーションがとりにくい</li> <li>・横のつながりが少ない</li> <li>・他地域からの移住者がなじみにくい（よそ者を空々しい目で見る）</li> </ul>	イベントが重なることがないようにする 行事を2年に1回、4年に1回など調整する 運動会の見直し 早食い選手権、大食いとかお昼も競技にしてしまう、AMで終わりにする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この人数でこれだけ出ていることはすごいことである</li> <li>・頑張れる世代がいるから → いなくなったら…？</li> <li>・中学生は手伝うから交流になる</li> <li>・運動会（AM）+JAまつり（PM）イベントが重なっている</li> </ul>
高齢化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご長老、有識者たちが古い考えに固執して前進しない</li> <li>・超高齢になると地域活動に参加しづらい</li> <li>・年代の差があり、近隣の付き合いが少なくなった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・40～50代の人をリーダーに、60代以上の人たちにはバックアップをしてもらう機会を増やす</li> </ul>	
若い人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い力、知恵が取り入れられていない</li> <li>・活動団体の後継者育成が若い世代にされていない</li> <li>・町、自治会活動などに若い人の参加や積極性がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・40～50代の人をリーダーにし、若い人たちで考える機会を増やす</li> <li>・話し合いの持ち方や内容について若い人が勉強をしていく機会を設ける</li> </ul>	
継承の困難	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統的な良いものをしっかりと受け継ぐ体制が整えられていない</li> </ul>		
世代間交流の場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり暮らしの老人と若い世代が交流できる住宅がない</li> <li>・世代をこえ、ゆるやかに触れ合える空間・場がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で子育てする子どもを中心とする</li> <li>・小さい時から行事に参加させ、交流を持たせる</li> <li>・同居を積極的にする</li> <li>・地域外の人が魅力的に感じる取り組みの必要性</li> <li>・地域に福祉施設をつくり、地域ボランティアや子どもたちとの交流を活発にする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもは戻ってきたくなる、残りたくなる</li> <li>・子どもを把握できる</li> <li>・経済安定</li> <li>・介護問題</li> <li>・世間（個人・家庭）</li> </ul>

## 摺沢のまちづくりアンケート（小学4年生～中学3年生用）からみえてきた「摺沢の現状・課題・解決策」

この表は、摺沢のまちづくりアンケート（小学4年生～中学3年生用）の結果からみえてきた「摺沢の現状・課題・解決策」を一覧にしたものです。

### 【場所】

テーマ	現状や課題	解決策
家以外で友達と遊べる場所がない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊ぶ場所がない</li> <li>・遊具がたくさんある公園が欲し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園をもっとつくる</li> <li>・子どもたちの遊べる場所を増やす</li> </ul>

テーマ	現状や課題	解決策
い	い <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館ではおしゃべりができない</li> <li>・室内運動場が欲しい</li> <li>・冬に遊べるところがない</li> <li>・野球ができる自由な場所が欲しい</li> <li>・市民プールが欲しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに優しい施設をつくる</li> <li>・公共の場をもっと増やす</li> </ul>
楽しめる店がない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服屋さん、百貨、ミスタードーナツ、飲食店など、どの年齢でも楽しめる店が欲しい</li> <li>・カードゲームショップ、中古屋、ゲームセンターが欲しい</li> <li>・デパートやイオンなどの大型店が欲しい</li> <li>・もっと楽しめる場所が欲しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと店を建てる</li> <li>・誰でも入りやすい飲食店をつくる</li> </ul>
コンビニの一部集中化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の住んでいる地域やその他の地域にもコンビニが欲しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅の方にもコンビニをつくる</li> </ul>

【通学・交通】

テーマ	現状や課題	解決策
通学路の危険箇所がある  児童生徒の下校時の見守り体制がない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危ないところは見通しを良くしてほしい</li> <li>・通学路の整備、歩道の拡張</li> <li>・通学時真っ暗なので、街灯を増やしてほしい</li> <li>・時々小学生が下校時に危ないことをしている。大人から注意してほしい。</li> <li>・大人の見えづらい道を通っている子が多いので下校時に見守りをしてほしい</li> <li>・学校が遠い</li> <li>・道路が雪で歩きにくい時がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路を広くする</li> <li>・歩道の整備をもっとする</li> <li>・町全体に大人の目がいきわたるようにする（登下校時の見守り体制の検討）</li> <li>・歩道橋や目が見えない人のために黄色いブロックを増やす</li> </ul>
公共交通の便が悪い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス停を増やしてほしい</li> <li>・駅をもっと使いやすくしてほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス時間の改正</li> <li>・バス、電車の回数を増やす</li> </ul>

【衛生・環境保全】

テーマ	現状や課題	解決策
ゴミのポイ捨てがある  ペットのフンの処理が悪い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミや缶は自分で持ち帰るようにしてほしい</li> <li>・虫やカラスがよってくる</li> <li>・犬のフンがけっこう落ちているから見えないようにしてほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区毎に草取りやゴミ拾い活動</li> <li>・ゴミがポイ捨てされないようポスターを作成し貼る（絵でも文字でも）</li> <li>・花を植え環境を整える</li> <li>・木々を増やし自然を増す</li> </ul>
自然環境をもっと大切にしたい  エコやボランティアへの意識改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう少し緑が増えてほしい</li> <li>・熊対策をしてほしい</li> <li>・エコ活動やボランティア活動など人々と触れ合う活動を増やしてもらいたい</li> <li>・手入れされていないところがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たばこのポイ捨てを止めるという呼びかけをする</li> <li>・乗らなくなった車をそのまま捨てない</li> <li>・外灯のそばにゴミ箱を置く</li> <li>・木を植えたり自然を守ったりする運動をする</li> </ul>

【活気・賑わい】

テーマ	現状や課題	解決策
空き家がいっぱいある  空き地がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家を壊すなり、貸すなりしてほしい</li> <li>・空き地をなくしてほしい</li> <li>・やっていない店があるから直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アパートを増やす</li> <li>・町にあるつぶれた店などは危ないので整備する</li> </ul>

テーマ	現状や課題	解決策
空き店舗がある	てほしい	
町の雰囲気や住みやすさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アパートが少ないし家賃が高い</li> <li>・もっと若い人が住みやすい町になってもらいたい</li> <li>・若い人（30歳～50歳まで）が中心となって町を活気づけていってほしい</li> <li>・友達が離れていくので、離れていな開摺況にしてほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・祭りなどの行事を増やし地域交流を図る</li> <li>・地区毎にイベントやお祭りを開催する</li> <li>・各世代が集まり交流を行う</li> <li>・地域交流をもっと増やす</li> <li>・公共施設の駐車場を増やす</li> <li>・みんなとの距離感を高める</li> <li>・若い人にとって住みやすい町にする工夫をする</li> <li>・まちおこしやPRをする</li> <li>・人口を増やす</li> <li>・住民が増えるよう協力する</li> <li>・外国人も住みやすい地域をつくる</li> <li>・みんなで協力する</li> </ul>
お祭の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと面白いコーナーを増やして欲しい</li> </ul>	

【その他】

テーマ	現状や課題	解決策
児童を取り巻くその他の環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめをなくしたい</li> <li>・挨拶をもっと増やしたい</li> <li>・家族が近くで働ける町になってほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰とでも仲良くする</li> <li>・お年寄りが多いので、多くの人を多くの人を気遣ってあげられるような工夫が必要</li> <li>・高齢者が増えているので、建物や道路をバリアフリーの工夫をする</li> <li>・高齢者が増えているのでデイサービスや介護施設を増やす</li> </ul>
電波環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山の中だと電波が悪い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul>
特に直したいところも、変わってほしいところもない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・このままでいい</li> <li>・特になし</li> </ul>

## <資料編>

### 摺沢振興会 規約

第1条 本会は、摺沢振興会と称し、事務所を一関市摺沢市民センター内に置き、摺沢地区の振興を図ることを目的とする。

第2条 本会は、目的達成のため次の活動を行う。

- 1、摺沢地区全体に関わる地域づくりの調整や推進
- 2、摺沢地区内の各団体（以下「団体」という）単独では対応できない課題の解決
- 3、団体間の連絡調整
- 4、行政との連絡調整
- 5、その他、目的達成のために必要な活動

第3条 本会与団体との位置づけは、別表1の通り横並びとし、団体でできることは団体で行い、できない課題を本会で検討することとする。

第4条 本会の会員は、原則として摺沢地区内に住所を有する全世帯とする。

第5条 役員及び役員を選出

- 1、本会に次の役員をおく。
  - (1)会長 1名
  - (2)副会長 若干名
  - (3)監事 2名
  - (4)理事 60名以内
  - (5)事務局（事務局長 1名、事務局員 若干名）
- 2、会長、副会長は、理事会において理事の中から選考し、総会の承認を得るものとする。初回は摺沢振興会設立準備会が選考し、総会の承認を得るものとする。
- 3、監事は、総会において代議員の中から選出するものとする。
- 4、事務局は会長が理事の中から委嘱する。
- 5、役員任期は2年とし、再任を妨げない。
- 6、必要に応じて、会長が顧問を委嘱する。

第6条 会議

- 1、本会の会議は、総会及び理事会とし、総会は毎年1回、理事会は必要に応じて随時開催するものとする。
- 2、会議は、会長が招集する。
- 3、代議員の半数以上の要請があったとき、または会長が必要と認めるときは、随時に総会を開催することができる。

## 第7条 理事会

- 1、理事は、団体の代表者、学識経験者とする。
- 2、団体は別表2組織図の理事会に記載の団体とする。
- 3、学識経験者は理事会が推薦した者で、若干名とする。初回は摺沢振興会設立準備会が推薦した者とする。
- 4、理事会は、会長がその議長となる。
- 5、理事会の議決は、出席者の過半数以上で決する。可否同数の場合は議長の決するところによる。
- 6、理事会は、主として次の事を行う。
  - (1)総会への提出議案の検討
  - (2)活動の推進
  - (3)その他会長が必要と認めたこと

## 第8条 総会

- 1、総会は、摺沢地区民の代議員によって構成する。  
代議員は、別紙2組織図の総会に記載の自治会毎に推薦を受けた者とする。  
自治会毎の代議員の人数は、20世帯に1名とし、四捨五入で人数を確定する。
- 2、総会は、次の案件を議決する。
  - (1)事業及び、予算・決算に関すること
  - (2)役員の承認に関すること
  - (3)規約に関すること
  - (4)会費の徴収に関すること
  - (5)その他会長が必要と認めたこと
- 3、議長は、代議員の中からその都度選出する。
- 4、議決は、出席者の過半数で決する。可否同数の場合は議長の決するところによる。

## 第9条 執行部会

- 1、執行部会は、会長、副会長、事務局で構成し、会の企画、執行にあたる。

## 第10条 会費及び、会計

- 1、本会の経費は、会費、補助金、協力金、その他の収入をもってあてる。
- 2、会費の額は、総会において決する。(一世帯・年額100円)
- 3、会計年度は、毎年4月1日に始まり、3月31日に終わる。

## 第11条 施行細則

この規約の施行についての細則は、必要に応じて理事会において定める。

<付則>

この規約は、平成26年8月28日から施行する。

但し、平成26年度の会費は徴収しない。

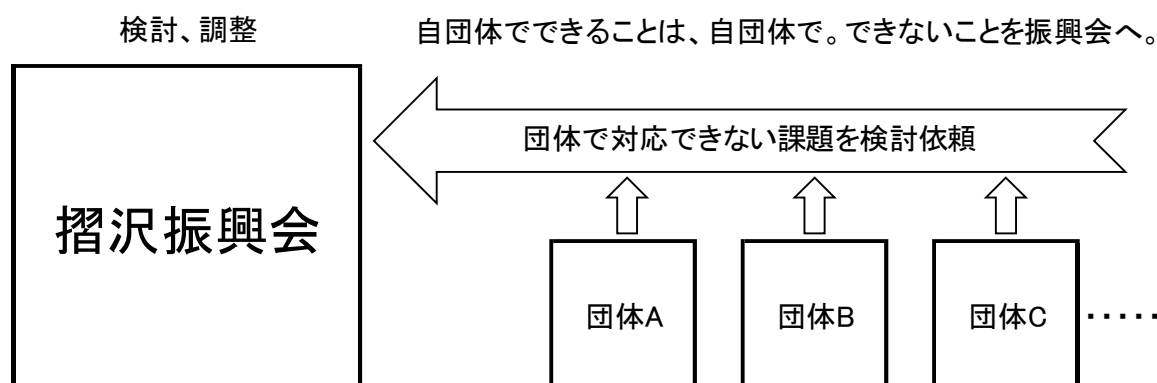
この規約は、平成27年6月30日に改正し、同日から施行する。

この規約は、平成28年5月24日に改正し、同日から施行する。

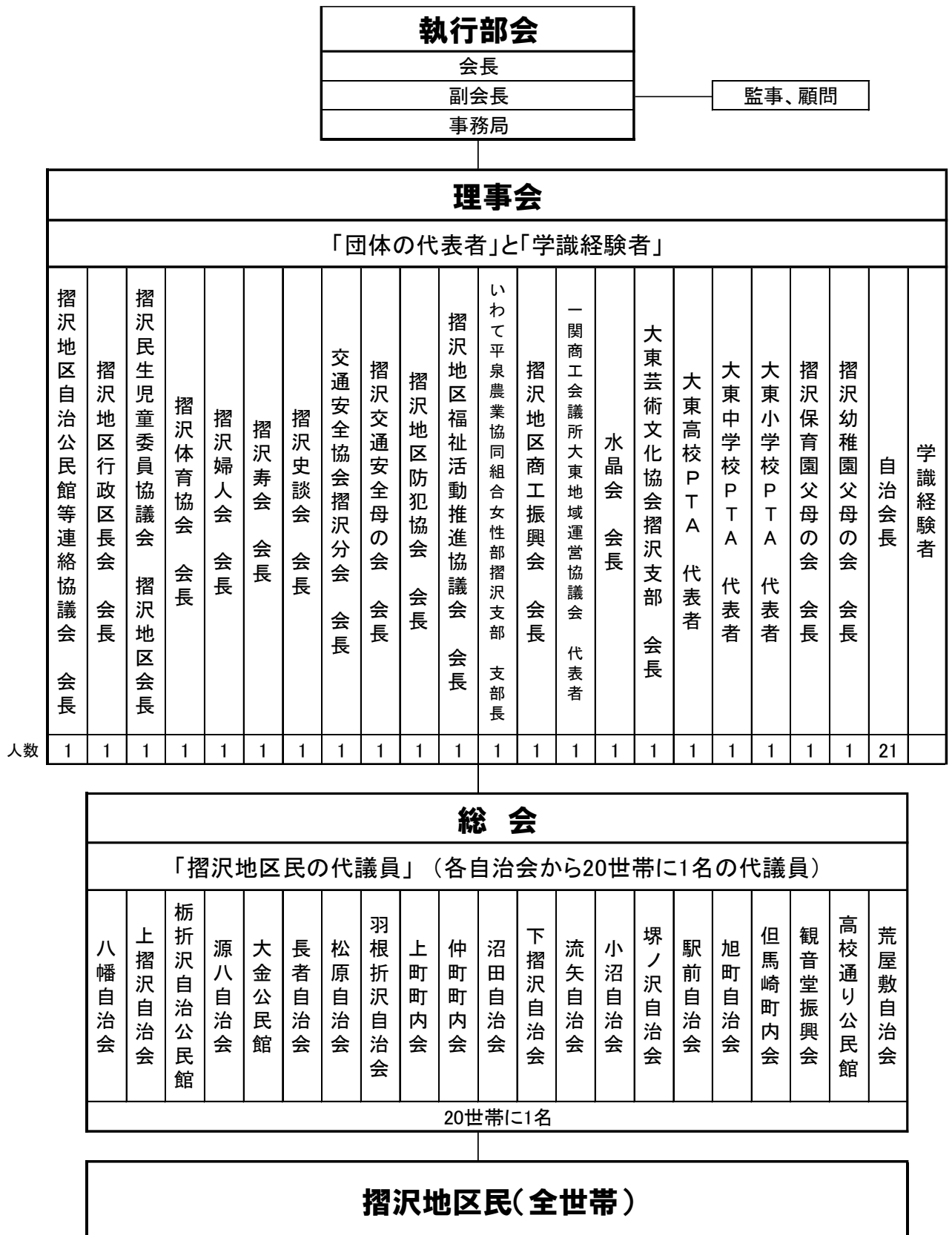
この規約は、平成28年12月20日に改正し、同日から施行する。

別表1 摺沢振興会と団体の位置づけ

摺沢振興会と団体の位置づけは横並びとし、団体でできることは団体で行い、できない課題を摺沢振興会で検討することとする。



別表2 摺沢振興会の組織図





# 「摺沢のまちづくりアンケート」集計結果 第1回報告 (中学校卒業以上の選択式問い)

◆回答率は、82.6%と高い値でした。今後のまちづくりの重要な指標になります。

配付数	2,743	回答数	2,267	回答率	<b>82.6%</b>
-----	-------	-----	-------	-----	--------------

## 1. あなた自身についての質問

### 問1 性別

男性 **47%**    女性 **53%**

### 問2 年代

◆15歳以上49歳以下は**30%**、50歳以上は**70%**です。実際の人口比率とほぼ同じです。

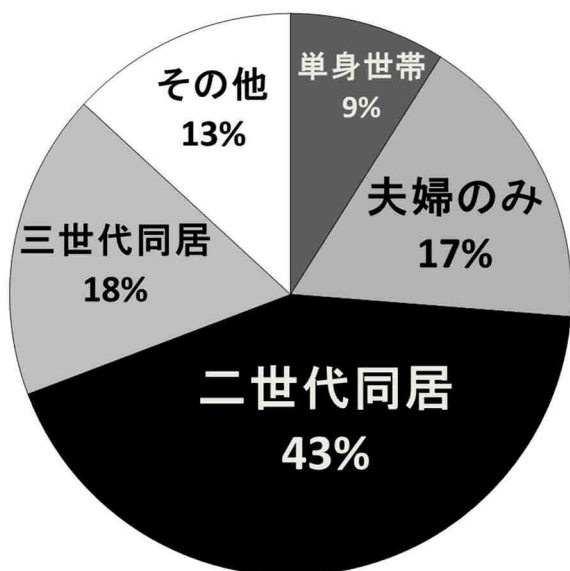
15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
4%	5%	9%	12%	16%	21%	32%

### 問3 住んでいる地区

八幡	上摺沢	栃折沢	源八	大金	長者	松原
11%	6%	4%	3%	2%	4%	3%
羽根折沢	上町	仲町	沼田	下摺沢	流矢	小沼
4%	5%	2%	9%	8%	4%	2%
塚ノ沢	駅前	旭町	但馬崎	観音堂	高校通り	荒屋敷
3%	6%	4%	8%	4%	4%	5%

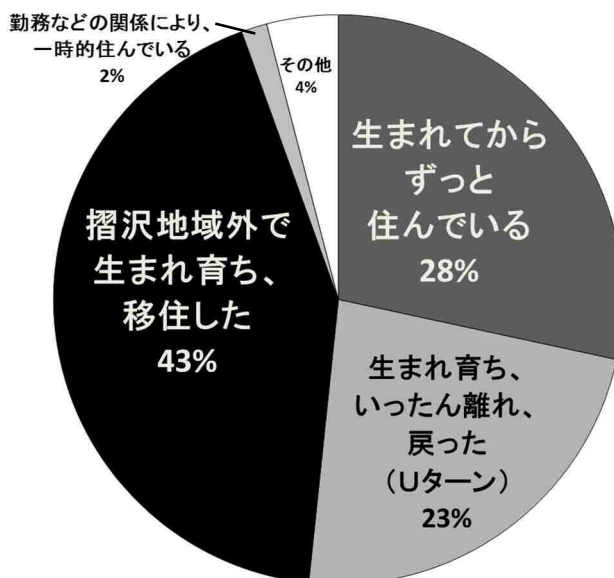
### 問4 家族構成

◆単身世帯の人が9%います。



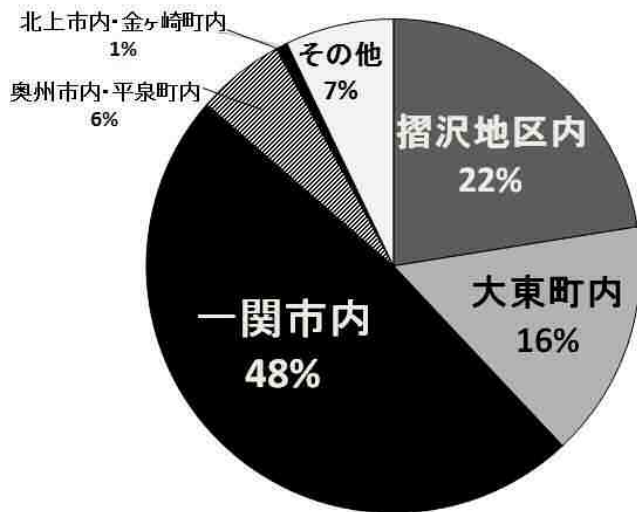
### 問5 摺沢に住んでいる経緯

◆「移住した人」が一番多い結果となりました。



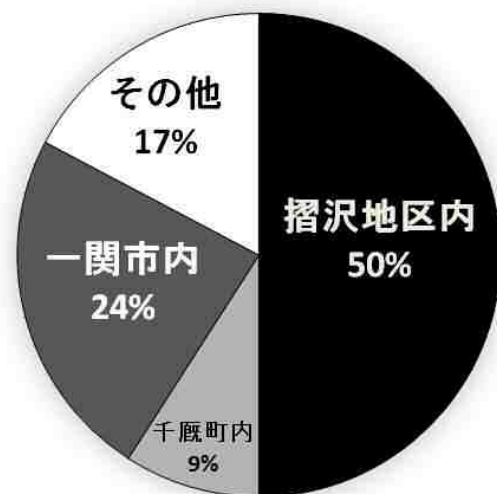
## 問6 勤務場所

- ◆若い世代の勤務場所が重要な指標となるため、「49歳以下」の結果を示します。  
尚、「50歳以上」で一番多いのは「摺沢46%」です。



## 問7 通学場所

- ◆回答のほとんどが高校と考えられますので、摺沢における大東高校の重要性がうかがえます。



## 2. 摺沢の「いま」についての質問

### 問8 あなたは現在の摺沢をどのように感じていますか。

- ◆「そう思う:10点」、「ややそう思う:7.5点」、「あまり思わない:2.5点」、「そう思わない:0点」として点数を算出しました。点数の高い順に表に示します。「49歳以下」と「50歳以上」の点数も併記します。

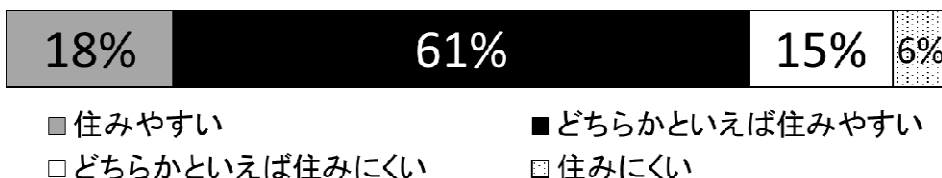
順位	項目	10点満点での点数		
		全体	49歳以下	50歳以上
1	自然環境に恵まれている	8.0	8.3	7.9
2	犯罪や事故が少ない	7.3	7.4	7.3
3	上下水道やごみ処理施設などの生活環境施設が整っている	6.9	6.4	7.1
3	小学校や中学校、高校などの教育環境が整っている	6.9	6.5	7.0
5	道路が整っている	6.4	6.1	6.5
6	ホールや図書館、体育館など文化・スポーツ環境が整っている	6.2	5.4	6.5
7	携帯電話やインターネットなど情報通信網が整っている	5.9	5.2	6.3
8	買い物の便が良い	5.6	5.1	5.8
9	人と人の助け合いやつながりがよい	5.3	5.5	5.2
10	歴史文化が伝承されている	4.8	4.9	4.8
10	JRやバスなど交通の便がよい	4.8	3.9	5.2
10	子育て環境が整っている	4.8	4.3	5.0
13	福祉環境が整っている	4.0	3.9	4.0
14	医療環境が整っている	3.0	2.6	3.1
15	公園が整っている	2.4	2.4	2.5
16	余暇・娯楽施設が整っている	2.0	1.6	2.2
17	働く場が多い	1.4	1.4	1.3

◆「49歳以下」と「50歳以上」の評価の点数は、ほぼ同じ結果となりました。

◆評価の点数が低い、以下の13～17番の5項目は、特に改善が望まれる項目です。  
「福祉環境」、「医療環境」、「公園」、「余暇・娯楽施設」、「働く場」。

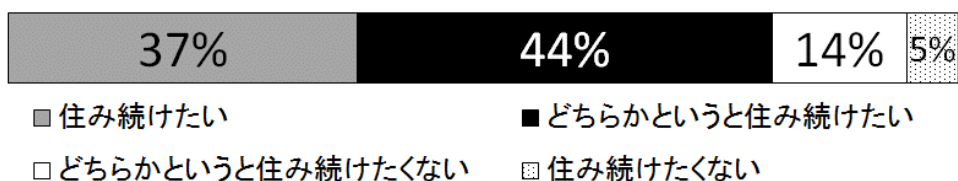
問9 摺沢は住みやすいと思いますか。

◆「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせて、79%です。



問10 これからも摺沢に住み続けたいと思いますか。

◆「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせて、81%です。



### 3. 摺沢の「未来」についての質問

問11 今後10年間に摺沢では何を重視してまちづくりを進めるべきと考えますか。(3項目選択)

◆各項目を選んだ人の割合を算出しました。割合の高い順に表に示します。  
「49歳以下」と「50歳以上」で算出した割合も併記します。

順位	重視する項目	項目を選んだ人の割合		
		全体	49歳以下	50歳以上
1	高齢者や障がい者が安心して暮らせるまちにする。(福祉重視)	53%	35%	61%
2	働く場の創出や地域資源を生かした事業を推進する。(産業振興重視)	40%	45%	38%
3	若者の活気やにぎわいがあるまちにする。(若者重視)	37%	39%	37%
4	摺沢駅やバス交通、買い物の利便性を守る。(生活関連重視)	33%	34%	33%
5	子育て環境の整備充実を図る。(子育て重視)	29%	43%	23%
6	医療機関を守り、スポーツや健康づくりの盛んなまちにする。(健康重視)	27%	30%	25%
7	犯罪や事故が少なく、災害に強いまちにする。(安心・安全重視)	24%	22%	25%
8	美しい自然やうるおいのある生活景観を守る。(自然・生活景観重視)	17%	16%	17%
9	みんなで支え合うまちにする。(地域協働重視)	15%	10%	18%
10	教育や生涯学習、文化活動の充実を図る。(教育・学び重視)	9%	12%	8%
11	他の地域の人々との交流が盛んなまちにする。(地域間交流重視)	6%	5%	6%
12	ごみの減量やリサイクル活動を推進する。(環境活動重視)	5%	5%	5%
13	地域の歴史や文化を学び、後世に伝える。(歴史文化伝承重視)	3%	3%	3%

◆「50歳以上」の重視項目は、全員の順位とほぼ同じです。

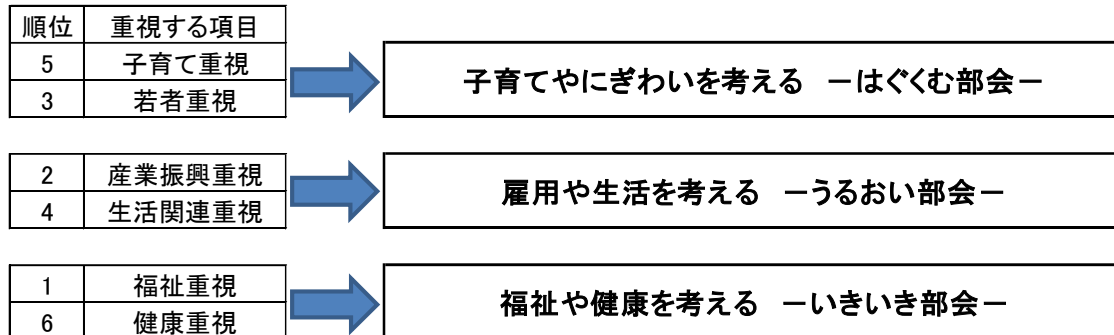
◆「49歳以下」の重視項目の上位は以下です。

1位:「産業振興重視」、2位:「子育て重視」、3位:「若者重視」、4位:「福祉重視」

◆この重視項目の結果を基にして、「部会」を作り、「地域づくり計画書」を作成していきます。

「49歳以下」と「50歳以上」の上位6項目が共通なため、その6つを部会対象とします。

6つを以下のようにまとめて、3つの部会を作ります。

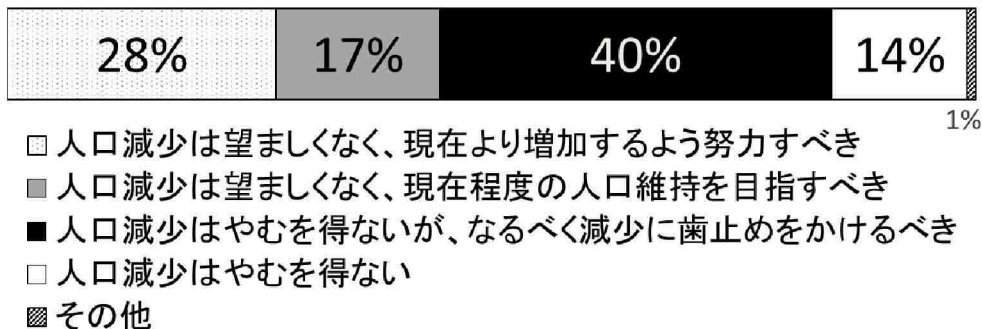


◆前述の問8で評価の点数が低かった、「福祉環境」、「医療環境」、「公園」、「余暇・娯楽施設」、「働く場」の5項目のうち、部会の項目に入っていない、「公園」、「余暇・娯楽施設」は、「子育てやにぎわいを考える —はぐくむ部会—」で検討します。

問12 摺沢の人口が減少していくことについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

◆「人口減少の対策をするべき」という3項目を合わせて、85%です。

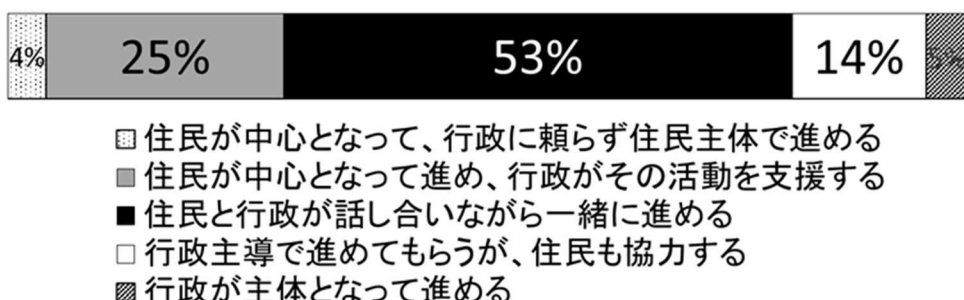
3つの部会で「人口減少対策」も考慮します。



問13 摺沢のまちづくりは、どのように進めることが望ましいですか。

◆「住民中心」と「住民と行政と一緒に」という3項目を合わせて、81%です。

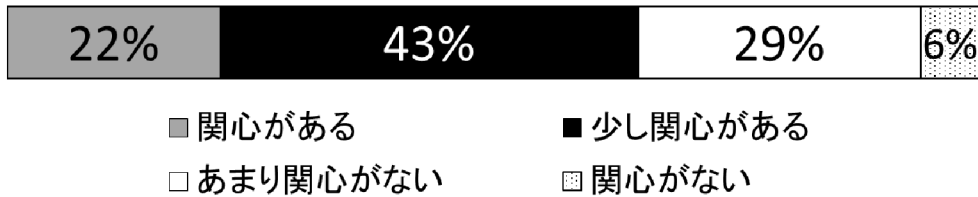
住民主体の進め方に沿って、摺沢振興会を運営していきます。



## 4. まちづくりへの参加についての質問

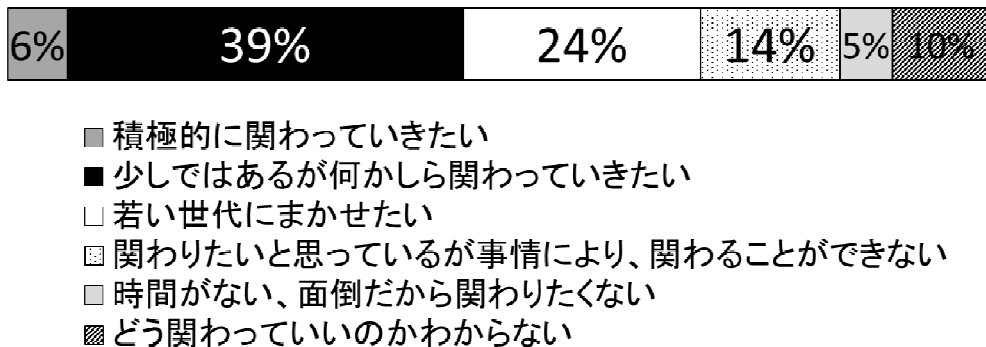
問14 まちづくりや自分が住んでいる地域の活動などに関心がありますか。

◆「関心がある」と「少し関心がある」を合わせて、65%です。



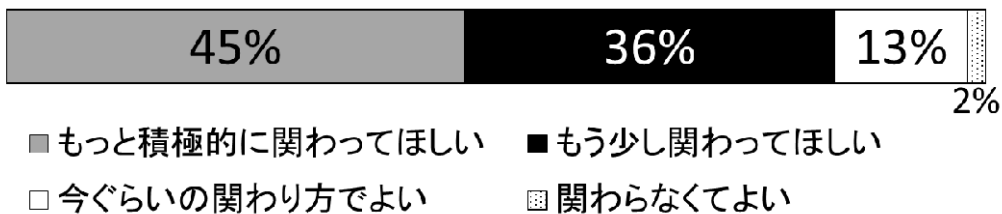
問15 <50歳以上の方への質問> どのくらい地域の活動に関わっていきたいと思いますか。

◆「関わっていきたい」の2項目を合わせて、45%です。「若い世代にまかせたい」が、24%あります。



問16 <50歳以上の方への質問> 若い世代の地域活動の参加をどう思いますか。

◆「関わってほしい」の2項目を合わせて、81%です。

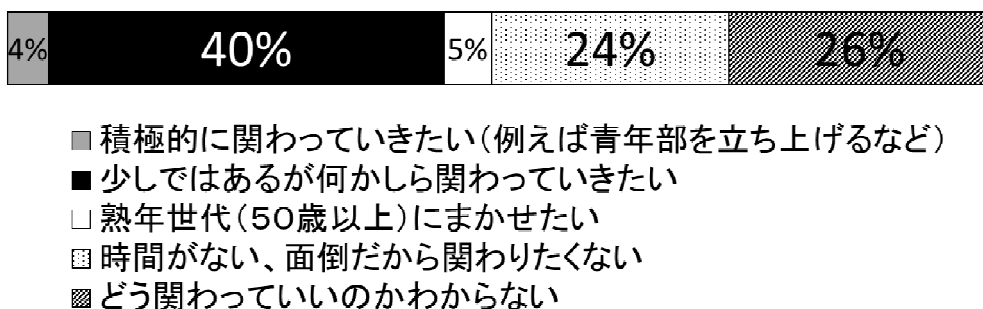


問17 <49歳以下の方への質問> どのくらい地域の活動に関わっていきたいと思いますか。

◆「関わっていきたい」の2項目を合わせて、44%です。

「どう関わっていいのかわからない」が、26%です。

◆自由記述の問18「若い世代の参加のアイデア」に多数の意見をいただきました。部会等で生かしていきます。



(注)極力見やすいグラフにするために、回答の「選択肢:その他」を含めないグラフもあります。